

キマシテハ彼ノ西洋ノ遺産分割相続ノ主義ヲ何處迄モ貫クト云フ  
考ヘテ之ヲ提出シタノテハアリマセヌ自分ノ直系卑屬ノミニ限り  
マシテ——直系卑屬カナイ場合ニ於テハ戸主ニ歸スル苟モ  
子トカ孫トカ云フ者カアレハソレニ平分シテヤルト云フコトハ人  
情カラ推シテ見テモ一番公平ナコトテアリハ致シマスマイカト考  
ヘルノテアリマス戸主權ノ方テアリマスレハ逆モ斯ウ云フコトハ  
出來ヌノテアリマス幾ラ此方カ公平ト考ヘマシテモ是ハ法律テ社  
會ノ組織ヲ替ヘルト云フコトハ私ハ出來ヌモノト考ヘマス一體法  
律ノ效力ト云フモノハ社會ヲ變造スル改造スルト云フコトハ出來  
ヌモノテアツテ社會ノ進歩ニ伴ウ社會ノ進歩ニ伴ツテ助成シテ性  
クト云フ效力ヨリナイト思ヒマスカ併シ是ハ社會ノ是迄ノ有様ヲ  
打破スルトカ改造スルトカ云フヤウナコトテナク之レカラ先キハ  
斯ノ如キコトテナクテハ社會ノ有様ニ伴ウコトハ出來ヌト私共ハ

考ヘマシタカラ此處ニ此案ヲ提出シタノテアリマス固ヨリ重イ問  
題テアリマスルカラ諸君ノ公平ナ御判断ニ依リマシテ其結果ニ依  
テ私共ハ原案ヲ書カウト思フノテアリマスルカ兎ニ角私共ノ多數  
ハ此方カ宜イト前カラ信シテ居ツタモノテアリマスカラソレ故ニ  
一應諸君ノ御判断ヲ請フコトニナツタノテアリマス

高井政章君 私ハ此問題ニ付テハ少シ違ツタ考ヘテ居リマスカ  
ラ簡單ニ述ヘサセテ貰ヒタイ實ハ原案カ斯ウ云フ風ニナラナイ方  
テアルト今日迄思フテ居ツタノテアリマスケレトモソレハ私ノ誤  
解テアツテ是ハ家族ノ遺産相続ニ限ル問題テアリマスルカラ格別  
重大テナイヤウニ見エルカモ知レマセヌカ家族カ財産ヲ持ツト云  
フコトハ是レカラ段々起ツテ來ルコトテアラウト思ヒマスカラ餘  
程重イ問題トシテ顧サンナラヌト思ヒマス、テ私ハ今日ハ全ク慣  
習カナイト云フコトテアリマスケレトモ今日ハ矢張り戸主ニ性ク



ト云フコトニナツテ居ルトモ聞キマシタカサウテアレハソレ丈ケ  
ノ慣習ヲ打破スルト云フコトニナル併シ私ハ戸主ニ性クト云フ制  
度ヲ存シタイト云フ考ヘテモナシ又長子ニ皆遺ルノカ理論上宜イ  
ト思フノテモナイ唯其戸主ニハ此處迄モ性カナイト云フコトヲ前  
提シテ唯既成法典ニ極ノテアルヤウニ長子カ皆取ルカ、子供ノ間  
ニ分ツカト云フ問題テアルノテアル此問題ニ付テハ是迄佛蘭西民  
法ノ解釋トシテテナシニ相續法ノ廣イ立法問題トシテ考ヘタコト  
カアル私ノ意見ハ決シテ近頃ニ始マツタコトテハナイ餘程前カラ  
持テ居ル考ヘテアリマス此案ニ反對ノ諸君カ若シ多數テアレハ其  
諸君ノ理由ト私ノ理由トハ餘程違ウト思フ併ナカラ私ノ理由トス  
ル所ハ餘程前カラ確信スル所テ我國ニ於テモ度々述ヘタコトテア  
リマスルカラ簡單ニ述ヘテ見タイト思フ私ハ吾々多數ノ考ヘニハ  
全ク同意テアルノテスごちらカ公平テアルカト言ヘハ一見シテ此

方カ公平テアル實質上ハ、子カ三人アルソレハ皆同様テナケレハ  
ナラヌ其内ノ一人カ皆取ツテ仕舞フテ外ノ者ニハ遺ラナイト云フ  
コトハ不公平ニハ相違ナイ併ナカラ此分割主義ノ結果ニ付テ考ヘ  
テ見ルト矢張り不公平ナ結果ヲ生スルト思フソレハ經濟上カラこ  
んみくしよん確信シテ居ル其譯ハ平等ニ分ツト言ヘハトウスルノ  
テアルカ巨大ナ財産ヲ持テ居ル場合、金モ持テ居ラウシ動産モ持  
テ居ラウシ不動産モ持テ居ラウシ少シク大キクナレハ工場モ持テ居  
ラウシ山モ持テ居ラウシ其場合ニトウ云フ風ニシテ分ツカ餘程困  
難テアラウト思フ少々其價値ハ違ツテモ都合好ク兄ハ農業ニ適ス  
カラ畑ヲ遺ル次男ハ商業ニ適スルカラ金ヲ遺ル三男ハ工業ニ適ス  
ルカラ工場ヲ遺ルト言ツテ皆黙ツテ居レハソレテ宜イケレトモサ  
ウ云フコトハ、彼多ニハアルマイト思フ價値カ違ヘハ争ヒカ生ス  
ルサウシテ種々ノ財産ヲ皆ノ都合ニ適スルヤウニ分ツコトカ出來



ルト云フコトハ少ナカラウト思ヒマスサウシテ見レハ多クノ場合ニ困難テアツテ争ヒカ生スルト思フ争ヒカ起レハトウスルカソレヲ賣ルヨリ仕方カナイ賣ルト云フト色々ナ損カ生スル併シ賣ツテ分ケル折角親カ汗ヲ擦ツテ拵エタ一家ノ生活ノ本トナル所ノ大キク言ヘハ工場小サク言ヘハ商賣道具サウ云フ物ヲ賣ツテ同シニシテ仕舞ハナケレハナラヌ之ヲ大キクスレハ一國ノ富源ト云フモノカ幾分カ缺ケルト云フコトモアラウト思ヒマスサウ云フ風ニ工場ト云フモノヲ減茶々々ニシテ仕舞ツテハ、ソレテトウシテモ分チ方カ六ケ敷イ佛蘭西ノ平分主義ノヤウナヤリ方ハ幾ラカ能ク出来ルト思ヒマスケレトモ誠ニ都合好クヤルト云フコトハ六ケ敷イト思ヒマス佛蘭西ニ於テモ學者カ色々ナ案ヲ講究シテ居ルヤウテアリマスケレトモどれモ皆ク往キモセス又往キヤウ答ハナイト私ハ思フテ居ル平等分割ト云フコトハ大變ニ宜イ皆子供ヲ平等ニ扱ウ

ト云フコトハ大變ニ宜イケレトモ實際ハ争ヒテ惹起ス、物ヲ賣ツテ仕舞ウ一家ノ生活ノ本トナル所ノ物カナクナツテ仕舞ウ又賣ルノニハ儲ケト云フモノカ極ク少ナイ餘程經濟上ノ結果カ面白クナカラウト思フソレテ私ノ考ヘテハ遺留分ト云フモノノ範圍ハ狭クシテ親自ラモ二男三男ノ爲ノニトウカシテ置キタイト云フ場合ニハトウカナルト云フ丈ケニシテ置キタイサウ云フコトテ大ニ二男三男ヲ扶ケル途カ付カヲウカト思ヒマス子供ヲ皆同シヤウニ扱ウ平等ニ分ツト云フコトハ主義ニ於テハ大賛成テアル私ハ決シテ長子相續法ニ懸々トシテ之レニ反對ナスルノテハナイ理論ハ誠ニ立派テアルケレトモ經濟上ノ理由カラシテ平等ニ分ツト云フコトハ實際ニ面白クナイ結果ヲ惹起スコトヲ氣遣ツテ居ル是ハ法律ノ限制テ極ノタ所ノ分割相續法ト云フコトハ免レナイ私ハサウ云フ理由テ是ハ公平テアルヤウテハアルケレトモ實際ハ却テ平等ニ分ツ



ト云フコトニシナイ方カ宜カラウ平等ニ分ツト云フコトハ法律ノ力ニ依テ是非共トウニテモシテテスナ色々ノ財産カアツテ争ヒニナツタ場合ニハソレヲ賣ルヨリ仕方カナイサウ云フ風ニシテトウアツテモ同シヤウニ分タナケレハナラヌト云フコトニスルノハ經濟上有害テアルト云フ考ヘテ案トカラ持テ居ルボノテアリマスカラソレ丈ケ御参考迄ニ申上ケテ置キマス

梅 謙次郎君 此問題ニ付キマシテハ極ク詳シク申上ケマスルト三人トモ皆各々考ヘカ違ウノテアリマス私ノ一體本當ノ意見ヲ申上ケマスルト此案テハ不満足テアル私ノ考ヘテハ家族ノ遺産相續ト云フモノ丈ケテハイカナイノヲ遺産相續全體ニ付テ分割主義ヲ採ルト云フ意見テアリマス併ナカラ家督相續ニ付テハ先刻穂積君カラ御説明モアツタ通り慣習モ餘程右ノ以來武家時代カラ兎ニ角、一人相續ト云フコトニナツテ居ル成程武家時代ニハ必要テアツタ

カ今日ハモウ其必要ハナイ併ナカラ慣習ト云フモノハ必要カナクナツテモ矢張り存シテ置クノカ慣習ノ慣習タル所以テアルカラソレチ今破フルト云フコトハ中々六ヶ敷イコトト認ノルソレ故ニ是迄ノ此議論ノ傾向ヲ見ルト到底サウ云フ案チ出シテモ諸君カ能ウ議決シテ下サルマイト思ヒマシタケレトモ始ノハ修正意見トシテ出ス積リテアリマシタカ近頃ハ其勇氣ハナクナリマシタ併シ自分ノ考ヘ丈ケハ大キイ問題テアリマスカラ此處テ申上ケテ置タテ万ニ一ツ諸君ノ中カラサウ云フ修正案カ出タナラハソレニ賛成チシタイト思フテ居リマス私ノ一體分割主義チ採リタイト云フ考ヘハ是レ又高井君ノ口吻チ眞似ルノテハナイカ一朝一夕ニ起ツタノテハナイ古ク以來西洋ニ行ク前カラノ意見テアリマス唯佛蘭西カ分割主義テアルカラトカ或ハ何處カ分割主義テアルカラトカ云フヤウナ決シテ淺基ナ考ヘカラ起ツタノテハナイ大イニ利害得失チ考



へテ見又日本ノ經濟上ノ有様ヲ考へテ見テ分割主義カ宜イト云フ  
 コトハ堅ク信シテ疑ハサル所テアリマス私ハ斷シテ言フカ是レカ  
 ラ十年カ二十年ノ後ニハトウシテモ分割相續ニシナケレハナラヌ  
 コトニナルテアラウト思フ若シ法律カサウ云フコトニナツテ屠ラ  
 ヌテモ當事者カ種々ノ方法ヲ以テ何時モ分割相續ヲ爲スヤウニナ  
 ツテ仕舞ウサウナツタナラハ今日ノ立法者ハ先見ノ明ナキモノト  
 言ハレルソレハサウ言ハレテモ仕様カナイソレテ私ノ理由ト云フ  
 モノハ一體子供カ幾ラ澤山アツタカラト言フテ親ノ愛情ニ於テ遠  
 ヒハナル譯テアルトウカスルト長子ヨリハ却テ末子ノ方カ愛セラ  
 ルル位テアル親カ汗水ヲ垂ラシテ金ヲ儲ケ財産ヲ拵エテ之ヲ子孫  
 ニ繼ルト云フノハ家ヲ重ンスルト云フ考へモアルケレトモ亦子孫  
 ヲ愛スルト云フ情カラ出ルソレ故ニ國ノ富ヲ増スト云フコトカラ  
 考へテ即チ各人カ財産ヲ成ルヘク多ク拵エタイト云フ考へハ自分

ノ生キテ屠ル間ニ其澤山ノ財産ヲ持テ屠ルカ爲ノニ得ラルル所ノ  
 利益幸福ト云フモノ許リテハナイ自分ノ死ンタ跡チ家ヲ重ンスル  
 人ハ家ノ爲ノト云フコトヲ考へテヤルケレトモ多數ノ人ニ就テ言  
 へハソレヨリカモ寧ロ自分ノ可愛子孫ノ爲ノト云フコトニ考へテ  
 屠ル、所チ其子孫ト云フモノハ長子テアラヌウカ末子テアラウカ  
 先ツ親ノ愛情ニ於テハ同シコトテアルヘキノカトウカスルト末子  
 ノ方カ反テ長子ヨリカモ愛情カ深イト云フヤウナコトモアルサウ  
 シテ見ルト例へハ此處ニ一萬圓ノ財産ヲ持テ屠ル人カ若シ遺言チ  
 シテ死ナナカツタナラハ————マタ自分ハ死スル時機カ來タ  
 積リテアツタカラ遺言杯チシテ置カナカツタ時ニ一朝ニシテ死ス  
 ルト其財産カ長子ニ殘ラス性ツテ仕舞ウ長子ハ一萬圓ノ財産ヲ貰  
 ウケレトモ二男三男四男五男ト云フ者ハ極端チ言フト一文モ貰ハ  
 ナカツタソレカ果シテ親ノ情ニ於テ望ム所テアラウカ昔ノ世ノ中



ハ少ナクモ武家社會ニ於テハサウアルヘキコトテアル何故ナラハ  
 武家社會ニ於テハ祿ハ其家ニ附テ居ルモノテアルカラソレテ幾ツ  
 ニモ分ケルヤウナコトハてんで法カ許サヌ多數ノ士族杯ニ付テ言  
 フテ見タナラハ外ノ財産ト云フモノハ至ツテ少ナイテアリマス  
 レトモ祿ト云フモノハサウ云フ賦性質ノモノテアルカラ子ト言ヘ  
 ハ長子丈ケテ後トノ者ハ仕方ノナイ者ソレタカラ子ノ無イ所ヲ探  
 カシテ成ルヘク良イ所ニ養子ニテモ遣ラウト云フヤウナ語テアル  
 先ツ士族ノ子テアルト二男三男ヲ持テ居ル者ハ小サイ時カラ養子  
 先キヲ探カスサウ云フ時代ハソレテ宜カツタカ今日ハ戸主ト云フ  
 者ハ社會上ノ必要カラ言フトナクナツテ居ル、ケレトモ是ハ慣習  
 ノ力テ今日尙ホ存シテ居ル又世ノ中ノ人間カ矢張り戸主ト云フ者  
 ナ必要ト認メテ居ル法律ニ於テモ之ヲ認メナケレハ間接ニ不利益  
 カアルカラシテ認メルト云フコトハ固ヨリ宜イ、ケレトモソレテ

極端ニ財産ノ相続ニ至ル迄モ矢張り昔ノ通りニシテ置カナケレハ  
 ナラヌト云フコトハ時勢カ變ハツテ居ルニモ拘ハラズ法律ヲ替ヘ  
 ナイト云フコトニナルノテ社會ノ進歩ニ伴フタ法律トハ決シテ言  
 ヘナイソレテ時勢ハトウ云フ風ニ變ツテ來テ居ルカト言フト武家  
 時代トハ違ツテ今日ハ段々平等主義ニナツテ來テ即チ生活ト云フ  
 モノモ昔ノヤウニ一家々々ト云フモノカーツノ塊マリニナツテ生  
 活スルヤウナコトハ勢ヒ出來ヌヤウニ向フテ參ツテ居ルソレカ宜  
 イカ悪ルイカト云フコトハ人々ノ考ヘテアリマスカラ宜イト云フ  
 コトテアツテモ悪ルイト云フコトテアツテモ仕方カナイ兎ニ角サ  
 ウ云フコトニ實際成行クノテアルサウ云フヤウニ成行ク社會ノ傾  
 向ニ一家一人相続、一人テ財産ヲ皆取ルト云フコトニ法律ヲ極メ  
 ルノハソレカ今申上ケル所ノ社會ノ傾向ニ通スルテアルヤ否ヤ私  
 ハ無論適セヌト考ヘル一萬圓ノ財産ヲ持テ居ル者カ子ヲ三人遺シ



テ死ンタサウスルト其三分ノ一ツツ即チ三千三百三十三圓三十三錢三厘宛分ケテサウシテ其各々カ世ノ中ノ利益ヲ謀ツテ性ク方カ國ヲ富マシ又間接ニ兵ヲ強クスルコトカ出來ルノテアツテ至極宜シイノテアル之ニ反シテ長男ハ財產ヲ持テ居ルケレトモ跡ノ次男三男ハ一文モ財產ヲ持タヌト云フコトテアツテハ決シテ國カ富ミ兵カ強クナルト云フコトハナイソレテアリマスカラ一家一人相續ト云フコトハトウシテモ今日ノ社會ニハ適セナイ話テアル今一ツ考ヘテ見ナケレハナラヌコトハ社會ノ生活ト云フモノカ段々六ヶ數クナツテ盡ルソレテ長子文ケカ財產ノ全部ヲ相續シテ仕舞ウト云フコトニナルト跡ノ者ハ財產ヲ持タヌト云フコトニナル財產ヲ持タナイテモマタ今日位ノ時勢テアレハ少シ腕ノアル者テアレハトウカ斯ウカ喰ウコトハ出來ルカ段々生活カ六ヶ數クテツテ盡ルト幾ラカノ資本カナケレハ喰ヘヌト云フコトニナル西洋ノ有様ハ

矢張りサウテアルカ日本モ段々サウ云フ方ニ向ウノテアリマス長子ハ親ノ通りニ金持テアルカ次男三男ハ一文ナシテアル其爲ノニ二男三男ハ最早身ヲ立テテ性クコトカ出來ナイ尤モ兄ニ扶養シテ賣ウコトハ出來ル譯テアルケレトモ其兄カ若シ馬鹿テテモアツテ其財產ヲ皆無クシテテモ仕舞ウト三人共ニ路頭ニ迷ハナケレハナラヌコトニナル斯ウ云フコトテアルト社會ノ必要上カラ大變ニ困ル結果ヲ惹起ステアラウ富井君ハ大體ノ考ヘハ吾々ト一體斯ウ云フコトニ於テハサウ違フタ人トハ思フテ居ラナカツタカ之レニ付テハ吾々ノ了解ニ苦ム考ヘテ持テ居ラルル何故カト云フニ富井君ハ一體分割相續ノ主義ト云フモノハ理窟ニ於テ愚ルクハナイ一體此方カ宜イノテアル、ケレトモ唯分割ト云フモノカ都合好タイカナイカラソレテ一人ニ遺ツテ仕舞ウ澤山ノ財產ヲ分割スルコトニナルト争ヒカ起ツテ宜クナイカラ一人ニ遺ル成程分割ト云フコト



ハ五月蠅イカモ知ラヌケレトモ今日ニ於テハ矢張り分割シテ仕舞  
 ウ方カ宜イノテ面倒タカラ分割シナイト云フコトハ實ニ驚キ入ツ  
 タ話テアル高井君ハ曰ク分割ハ到底公平ニハ性カナイカラ若シ争  
 ヒテモ起レハ賣ツテ金テ分ケルヨリ仕舞カナイ併シ親ノ建テタ工  
 場ヲ賣ルトカ土地ヲ賣ルトカ云フヤウナコトハ社會上カラ損カ性  
 タト言ハレマスカ私ハ社會ノ眼カラ見ルト決シテ損ナコトハナイ  
 ト思フ却テ其方カ宜イカモ知レヌ親ハ工業ニ適スル人間テアツタ  
 カラ其工場ヲ持テ居ツタノテアルソレヲ賣ツテ仕舞ウト今度ソレ  
 テ買ウ人ハ矢張り工業ニ適スル人カ買ウニ違ヒナイソウシテ他ノ  
 相當ノ人カ繼續シテヤツテ性タト云フ方カ利益ナノテアル土地ニ  
 於テモ亦然リ其方カ社會ノ利益カラ言ヘハ國ヨリ宜シイノテアル  
 成程佛蘭西ノ民法ハ高井君モ言ハレル通り私共モ咄ツトモ感服シ  
 ナイ分割ノ方法カ窮屈ニナツテ居ルカライカナイ土地ハ土地テ二

人テテモ三人テテモ分ケル動産ハ動産テ同シヤウニ分ケル杯ト云  
 フヤウナ法律ハ無論私共ハイカヌト思フ、ケレトモ此原則カ採用  
 セラレタナラハ私不省ナリト雖モ其方法ハ能ク考ヘテ見テ高井君  
 ノ言ハレルヤウナ弊害ハ左迄ナイ所ノ案ヲ立ツルコトハ格別六ケ  
 敷クナイト考ヘテ居ルソレテアルカラ分割ノ方法カ六ケ敷イカラ  
 ト言ツテ一體三千三百三十三圓ヲ賣ウヘキモノヲ皆擧ケテ一人ニ  
 遣ツテ仕舞ウト云フコトニセヌテモ宜カラウ只今申シタ如ク高井  
 君ノ御論ハ夙ニ私ノ感服シナイ所テアリマス之レカ私ノ平生ノ持  
 論テアツテ是迄機會サヘアレハ唱ヘテハ居ルコトテアリマスケレ  
 トモ是ハ此議論ニ於テ採用セラルルトハ存シマセヌカラ之レ丈ケ  
 ニシテ置キマス此本案ノ一家族ノ遺産相續ニ付テハ分割主義ヲ採  
 ルコトト云フコトニ賛成シタ理由ハ大體ノ考ヘハ只今申上ケタ  
 考ヘカラ出テ居ルノテアリマス併ナカラ戸主權ノ相續即チ家督相



續ニ付テハ私ノ意見カ採用セラレサルニ拘ハラヌ家族ノ遺産相續  
 文ケニ付テ私ノ意見カ採用セラルルト云フコトハ決シテ前後矛盾  
 シテ居ルトカ不權衡テアルトカ云フヤウナコトハナカラウト考ヘ  
 マス其理由ハ委シク總權君カラ申サレマシタカ詰リ重フト家族ノ  
 遺産ヲ分割スルト云フコトハ武家時代カラ慣習ト云フモノハ殆ト  
 ナイ、タカラ慣習ヲ改ノルト云フコトハ殆ト言ヘナイト云フノカ  
 一ツト、ソレカラモウ一ツニハ戶主權ト云フモノハ今日必要テア  
 ル其戶主權カ必要テアル以上ハ之ヲ強クシナケレハナラヌ之ヲ強  
 クスルニハ遺産ヲ其處ヘ集メナケレハ強クナラヌト云フ議論テ戶  
 主權ヲ相續シタ者ハ遺産ヲ全部相續スルノカ原則ト云フコトニナ  
 ツテ居ル所カ家族ノ遺産ニ付テハ何故ニ長子ニ全部遺ルノテアル  
 カ長子ハ其爲ノニ家ノ義務ヲ負フノテハナイ全ク長子一人カ取ツ  
 テ仕舞ウノテアル長子カソレ文ケノ遺産ヲ取ツテモソレカ爲ノニ跡

ノ子供即チ弟妹杯チ養ツテサウシテ相當ノ所ニ嫁ニ遣ツタリ何カ  
 スル義務ハナイ成程扶養ノ義務ハ負フカ是ハ相互ノ話テ例ヘハ長  
 子カ其財産チ何時シカ喰ツテ仕舞ツタソレハ彼處ニ關フ所ノ過失  
 ニ因ル場合テナクシテモ宜イ過失ニ因ル場合テナクテモ何時シカ  
 喰ツテ仕舞ツタ、所カ二男三男ノ方ハ無一文テアツタケレトモ働  
 キカアツタカラ段々自分ノ腕ヲ稼イテ富チ造ツタサウスルト親爺  
 カラ數千乃至數萬ノ富チ讓ツテ貰ツタ人間カ今度全ク自分ノ腕ニ  
 任カセテ働イテ財産ヲ拵エタ者カラ扶養サレナケレハナラヌコト  
 ニナイソレハ兄弟ノ關係ニ於テ然ルノテアツテ長子カ親カラ澤山  
 ノ財産ヲ讓受ケタカラ弟ヤ妹チ養ハナケレハナラヌ義務カ生スル  
 ノテハ決シテナイヤウスルト家族ノ遺産相續ニ付テハ長子ニ全部  
 遺ルト云フコトハ言ヘレナイ戶主ノ方ハ家チ維持スル義務カアル  
 祖先チ祭ル義務モアレハ家族チ養ウ義務モアルソレタカラ財産カ



戸主ニ性クト云フコトハ買イテ居ルカ家族ニ至ツテハ義務ハ一ツ  
 モナイケレトモ權利丈ケ一人ニ性クト云フコトハ不權衡テアル富  
 井君ノ先刻仰ラレル所ノソレハ分割ノ方法カ思ハシクナイカラ不  
 權衡テアルト云フヤウナコトハ吾々ニ於テモ尤充分ニ考ヘテ出來  
 ルコトナラハ富井君モソレナラハ宜カラウト云フ案ヲ作り出シタ  
 イト思フテ居リマスソレテスカラ其方ハ御心配爲サレスニ先ツ家  
 族ノ遺産相續ニ付テハ分割主義ヲ採ルノカ理窟ニ適フテ居ルヤ否  
 ヤ第三ニハ抑モ財產カ分レルト云フコトカ善イカ悪ルイカ此三ツ  
 ノ點ニ付テ論シテ實ヒタイ一個ノ財產カ分レルト云フコトハ是ハ  
 西洋テモ學者ノ言フコトテアツテ餘程經濟上考フヘキコトテアル  
 是迄私ノ論シタコトハ實ハ研究スルコトサヘ格別重キモナイコト  
 ト思ヒマスケレトモ財產カ分レル所カラ生スル經濟上ノ弊カ幾ラ  
 カアルソレカトウテアルカト云フコトハ始終懸念シテ居リマス此

點ハ委シク説明スルト色々説明スルコトハアリマスケレトモ事實  
 ニ徴シテ見テ全ク杞憂テアル財產カ悉ク分レルト云フト貧乏人許  
 リ數多クナツテソレテ國ノ富チ進ノテ性クニ不便テアルト云フコ  
 トハ寧ロ杞憂テアラウト考ヘマス御承知ノ通り佛蘭西ハ分割ノ極  
 端ノ主義ノ國テアルカ不動産杯カ悉ク分レテ實際不都合ヲ見ルカ  
 ト云フニサウテハナイ統計表ニ依テ見ルト分割相續カアルニ拘ハ  
 ラス不動産杯ハ段々吸收セラレテ僅カノ人ノ手ニ落ちルソレハト  
 ウ云フ譯カト云フト矢張り小サク分ケテ見タ所カ多クノ人間ハ持  
 チ切レナイテ賣ツテ仕舞ウサウスルト一人ノ手ニ落ちル其人カ働  
 キノアル人テサヘアレハ他人ノ物ヲ買集メテ澤山ノ地面チ一人テ  
 耕ヤスト云フコトニナルカラソレテ統計表ニ於テハ併合ノ弊ハア  
 ルケレトモ分割ノ爲ノニ悉ク分レテ困ルト云フコトハ實際ナイト  
 云フコトテアル左モアルヘキコトト思フ日本ニ於テモ今日併合ノ



弊ノアルト云フコトハ聞クカ分割シテ困ルト云フコトハ聞カナ  
此點ニ付テハ日本杯テハ心配スルコトハ要ラナイト考ヘマス旁々  
以テ此案ニ賛成ヲ致シタノテアリマス

富井政章君 強テ論スル程ノコトテハナイ私ノ説明カ足ラナカツタ  
カラテアリマセウカ今梅君カラ木葉徹庵ニ論駁カアリマシタカラ  
ソレ丈ケテ私ハ申シテ置キマス——モウ少シ辯シタイト思  
ヒマスケレトモ大抵分ツテ居リマスカラ申シマセヌ

高木豊三君 私ハ一ツ質問チシタイノテアリマス大抵主義ハ分リマ  
シタカ家族ト云フ中ニハ申ス迄モナク日本ノ親族法ニ依ルト隱居  
ト云フ者カアル隱居シタ後ニ財産ヲ持テ居ルサウスルト家督相續  
ト云フモノハモウ極マツテ居ル其長子ナル者カ家督相續チシテ其  
長子ノ家族トシテ例ヘハ弟カ二人アル隱居ハお父さんソレテ其隱  
居カ別ニ特有財産ヲ持テ居ツテ死ンタ場合其時ニモ矢張り分割ト

云フコトニナリマスルト前ニ家督相續チシテ財産ヲ全部貰ツテ居  
ル奴ニモ平等ニ割付スルト云フコトニナルノテアリマスルカ如何  
テアリマセウ

穂積陳重君 先ツソレハ主義トシテハサウ云フ考ヘテアリマス  
高木豊三君 私ハ其場合ニハ前ニ家督相續チシタ者ニハ分タヌト云  
フコトニナル方カ公平テハナイカト思フ

穂積八東君 一寸議長ニ伺ヒマスカ富井さんノ御説ハ今此處ヲ賛成  
テモシテ置カヌト立消エニナルノテアリマス

議長(笑作顔祥君) ソレハサウテセウ  
穂積八東君 例レ是ハ今日決議ニナリマスマイ

議長(笑作顔祥君) トウテスカ是ハ今日決シテ宜カラウト思ヒマ  
スカ

本野一郎君 決シテ宜シイ



總積八東君 私ハ高井さんノ説カ立消エニナルノテ氣遣ウノテアリ  
マス

議長（笑作顧問君） ソレナラハ御賛成ニナレハ宜イテセウ

總積八東君 賛成チシマス

高井政章君 原案ニ賛成ノ方カ若シ多數テアレハモウ少シ述ヘタイ

議長（笑作顧問君） トウテスカ是ハ議論スレハ際限ナク掛カリマ

セウカラ趣意ハ大概分ツテ居ルト思ヒマスカラ決チ採ツテモ宜カ  
ラウト考ヘマスカ——是ハトウ決チ採リマスカ高井君ノ案

ニ賛成者カアリマスカラソレカラ先キニ採リマセウカ

村田 保君 原案カラ採ツタ方カ宜イ

總積八東君 私ハ一寸議長ニ建議チシマス是ハ大分御急キノヤウテ  
アリマスカ私ハ次ノ議會マテ延ハシテ下サルコトヲ建議致シマス  
カラ先ツ其建議ノ決チ御採リニナツテ若シソレカ成立チマセヌケ

レハ私ハ高井さんニ賛成シタノチ引キマシテ成立タセヌコトニシ  
マセウ

議長（笑作顧問君） ソレテハ建議ニ付テ決チ採リマス八東君ノハ  
トウ云フ理由カ知リマセヌカ此次迄延ハスト云フ建議テアリマス  
之レニ賛成ノ方ハ起立チ請ヒマス

起立者 少数

議長（笑作顧問君） 少数、サウスルト八東君ハ御賛成チ御引キニ  
ナルノテアリマスカ

總積八東君 賛成チ引キマス

議長（笑作顧問君） ソレテハ高井君ノ議ニハ賛成者ハナイノテア

リマスカラ原案ニ付テ御議カナケレハ原案ニ決シマスカ如何テア  
リマスカ

村田 保君 異議ナシ



高木豐三君 異議ナシ

議長（箕作綱祥君） ソレテハ異議カナイト認ノマスカラ原案ニ決  
シマス今晚ハ是レテ散會致シマス

午後五時五十五分散會

第七十三回法典調査會議事速記録



第七十三回法典調査會議事速記錄

明治二十九年五月十八日午後三時三十分開會

出席員

- |    |     |
|----|-----|
| 箕作 | 麟祥君 |
| 本野 | 一郎君 |
| 土方 | 寧君  |
| 村田 | 保君  |
| 岸本 | 辰雄君 |
| 田部 | 芳君  |
| 高木 | 豐三君 |
| 穂積 | 八東君 |
| 清浦 | 奎吾君 |
| 横田 | 國臣君 |



- 鳩山 和夫君
- 井上 正一君
- 末松 謙澄君
- 穂積 陳重君
- 富井 政章君
- 梅 善次郎君
- 重岡 黨五郎君
- 元田 肇君
- 長谷川 喬君
- 南部 聖男君
- 磯部 四郎君
- 尾崎 三良君
- 三浦 安君

- 中村 元嘉君
- 岡野 敬次郎君

議長（笑作崎群君） 會議ヲ開キマス一寸諸君ニ御相談致シマスカ  
 此親族會ノ所ノ修正案カ今日出來上ルト云フコトハ實ハ分ラヌテ  
 アリマシタカラ夫レテ今日ハ相續編ノ會ヲ開クト云フ御通知ヲ致  
 シマシタカ今日出テ見レハ親族會ノ所ノ修正案カ出來テ居リマシ  
 タカ此前ノ會議ノ續キテアリマスカ可相成ハ親族會ノ方チ片付  
 ケタイト思ヒマスカ（此時「異議ナシ」ト呼フ者アリ）夫レテハ  
 此前ノ續キテモアリマシ修正案ト云フ方カラ始ノマス

（書記朗讀）

修正原案

起草委員提出

第九百四十四條第一項 未成年者カ成年ニ達シタル後後見ノ計算  
 ノ結了前ニ其者ト後見人又ハ其相續人トノ間ニ爲シタル契約ハ



其者ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得其者カ後見人又ハ其相續人ニ對シテ爲シタル單獨行爲亦同シ

梅 謙次郎君 之ハ此前ニ主トシテ奥田君カラ文章ノ不完全ナルコトヲ申出ラレマシテ誠ニ御尤モテアリマスルノテ即チ私共ニ於テ考ヘテ審レト云フコトテアリマシタ夫レテ考ヘマシテ恰度奥田君ノ言ハレタルヤウナ趣意ニナツタ積リテアリマス文章ヲ變ヘテ計リノ意味ハ些ツトモ變ヘナイ積リテ外ニ説明ハ致シマセヌ

議長(笑作顧問君) 此「後見ノ計算」ト云フ間ニ「管理」ト云フ字カ通入ルト云フコトテハナカツタノテアリマスカ

梅 謙次郎君 夫レハアリマシタカ「後見人ノ管理ノ計算」ト言フト餘リ長ク爲リマスカラ整理迄ニ揃ヘルト云フコトニシテ此處ハ兎ニ角「後見ノ計算」ト云フコトニ願ヒタイト思ヒマス

議長(笑作顧問君) 夫レハ文字文ケノコトテアリマスカ別ニ御異

議カナケレハ此修正原案ニ決シマス夫レテハ次ノ九百四十八條修正案ニ移リマス

(書記朗讀)

第九百四十八條 本法其他ノ法令ノ規定ニ依リ親族會チ開クヘキ場合ニ於テハ戶籍吏ハ會議ヲ要スル事件ノ本人、戶主、親族、後見人、後見監督人、保佐人、被事又ハ利害關係人ノ請求ニ因リ本人ノ親族ヲ招集シテ親族會員ヲ選定セシム但戶籍吏カ知ラサル親族及ヒ遠隔ノ地ニ居住スル親族ハ之ヲ招集スルコトヲ要セス

前項ノ規定ニ依リテ招集スヘキ親族ナキトキハ戶籍吏自ラ親族會員ヲ選定ス親族カ之ヲ選定スルコト能ハサルトキ亦同シ

梅 謙次郎君 本條ハ初ノノ原案ノ第九百四十八條ト第九百四十九條トチ併セマシタモノト略ホ同シモノテアリマス是ニ付テハ此前



ニ高木君カラ修正案カ出テ尙ホ夫レノ多少足ラナイ所ヲ補フテ今日案ヲ立ツテ來イト云フ御命令テアリマシタノテ力ノテ御多數ノ御意見ノアル所ト信スル所ニ依ツテ案ヲ立テタ積リテアリマス此處ニ一ツ既成法典ト較ヘテ説明シテ置カウト思フ事柄カアリマス夫レハ此條ハ人事編ノ第七十二條ト矢張り類似シタル規定ニ爲ツテ居リマス唯其人事編ノ第七十二條ト違ヒマスル所ハ第七十二條ニ依ルト親族カ自ラ親族會ヲ招集スル斯ウ云フコトニ爲ツテ居リマシタケレトモ是テハ前會ニ種々議論ノアリマシタル所ニ依テ親族カ招集チセヌテ招集スルノハ先ツ戶籍吏併シ其戶籍吏モ親族會ヲ招集スルノテナイ親族會員ノ選舉人ヲ招集スル第七十二條ニ掲ケテアルモノハ唯タ請求權ヲ持ツテ居リマス是ハ親族會ヲ組織シテ吳レロト云フ請求權ヲ以テ居ル斯ウ云フコトニシタノカ違ウノテアリマス尙ホ此請求チスル人ニ付テモ第七十二條ニハ「本人

」ト云フノカ無イノテ本案ニハ之ヲ入レマシタ之ハ本人ト利害ニ關スル事ヲ議スル爲メノ親族會テアリマスカラ若シヤ本人カ意思ヲ持ツテ居ル者ナラハ其本人カラ請求スルト云フ場合カ随分多カラウト思ヒマス例ヘハ婚姻チスルニ付テモ親族會ノ許可ヲ得ナケレハナラヌト云フヤウナ場合ニハ即チ其婚姻チシヤウト云フ本人カ請求シテ親族會ヲ招集シテ貰ウト云フコトニ爲ルタラウト思ヒマス夫故ニ原文ニ「本人」ノ通入ツテ居ラヌノハ缺點テアラウト思ヒマス成程未成年者ニ付テ重モニ規定シテアルモノテアリマスカラ未成年者カ自ラ親族會ヲ招集シテ吳レト云ツテ請求スルヤウナコトハ餘リナイノテアリマスカラ夫レテ無カツタノテアラウト思ヒマス次ニ原文ニハ「戸主」ト云フモノカ無カツタノテアリマス之ハ既ニ前ニ説明致シマシタ通り此戸主ノ成年テアル場合ニハ親族會ヲ置カナイト云フコトニ爲ツテ居リマスケレトモ前ニ申シ



マシタ理由ニ依ツテ本案テハ矢張り戸主ノアルトキテモ親族會ヲ  
置クト云フコトニ致シマシタサウシテ見ルト戸主ト云フ者モ必要  
ノアル場合ニハ親族會ノ招集ヲ請求スルト云フコトニ致スノカ賦  
ニ當然ノゴトテアラウト思ヒマス就中舊トノ案ニシテ考ヘテ見  
テモ戸主ノ成年ナルトキハ親族會ハナイ戸主ノ未成年ノトキハ親  
族會カアル而シテ未成年ト云ツテモ成年ニ垂ントシテ居ルトキハ  
隨分戸主カラ親族會ノ招集ヲ請求シテ宜シイノテアリマスカラ旁  
々以テ「戸主」ト云フモノヲ置キマシタ第三ニハ「檢事」ト云フ  
モノヲ加ヘマシタ之ハ幾分カ躊躇致シマシタカ遂ニ加ヘルコトハ  
致シマシタ是迄本案ニ於テモ又既成法典ニ於テモ親族關係ニ付テ  
モ檢事ハ何時モ公益保護者トシテ種々ノ場合ニ關係ヲ致スコトニ  
爲ツテ居リマス即チ無能力者等ノ利益ヲ保護スル爲ノ或ハ直接ニ  
公益ヲ保護スル必要ノアルコトモアルカモ知レマセヌカ兎ニ角詰

リ檢事ノ職務ノ範圍内ニ於テ若シ親族會ノ招集ヲ必要トスル場合  
ニ於テハ自ラ其請求ヲ爲スコトヲ得ルト致シテ置ク方カ當然デア  
ラウト思フタノテアリマス他ノ婚姻、養子、隠居等ノ規定ニ付テ  
既ニ御承知ノ通り檢事カラ或ハ隠居ノ取消ヲ請求スルトカ婚姻ノ  
取消ヲ請求スルトカ養子縁組ノ取消ヲ請求スルトカ云フヤウナ規  
定モ夫々アル位テアリマスカラ此親族會ノ招集ヲスル必要ノアル  
場合テモ若シ他ノ者カ請求ヲシナイ親族杯カトウカスルト近所ニ  
居ラヌヤウナ場合カアリマスカラサウ云フトキニハ外ニ請求スル  
者カナイト云フノテ檢事カラ請求ヲスルト云フコトハ賦ニ當然ノ  
コトト考ヘマス是ニ付テ此間ニ横田さんノ御論モアツテ即チ其點  
丈クハ横田さんト至極感テ同フシテ居リマス是ラノ事ニ付テハ外  
國ハ賦ニ區々ニ爲ツテ居ツテ又日本トハ其事情モ違ウコトデアリ  
マスカラ格別参考ニ爲リマセヌ併シ極其概略ヲ申上ケルト例ヘハ



本人ト云フモノハ外國ヲモ揭ケテナイ例カ多イノテアリマス之ハ  
 先期モ一寸申上ケマシタ通り外國テハ大抵此親族會ト云フモノハ  
 未成年者ニ付テ規定シテアリマスカラ未成年者本人カ自ラ親族會  
 ヲ招集スルコトハ極ノテ稀レテアリマスカラ明文カアリマセヌ加  
 之ナラス或ル特別ノ場合ニ彼見人カ權力ヲ濫用シテ未成年者ヲ處  
 待スルトキ或ハ其義務ヲ怠ツテ害ヲ加ヘルト云フヤウナトキニハ  
 未成年者カ親族會ニ訴ヘルコトヲ得ルト云フ事カアリマスサウ云  
 フヤウナ場合ニハ未成年者カ請求スルコトニナツテ居リマス一般  
 ノ規則トシテ「本人」ト云フモノノナイノハサウ云フ譯テアラウ  
 ト思ヒマス併シ全ク無イトハ言ヒマセヌ戸主ハ外國ニハアリマセ  
 ヌ檢事ハ大抵何處ノ國テモアリマス甚ダシキニ至ツテハ職權——  
 ——此裁判所ノ職權ヲ以テ親族會ヲ招集スルト云フコトカ最  
 モ多イノテアリマス、テ日本テハトウモ斯ウ云フ事ハ當俟ラナイ

ト考ヘマシタカラ裁判所ノ職權トカ或ハ戶籍吏ノ職權トカ云フコ  
 トハ罷ノマシテ誰レカ請求ヲシナケレハ往カヌト云フコトニ致シ  
 マシタ

岸本辰雄君 今度ノ規定ハ此前モサウテアツタラウカ戶籍吏カ招集  
 スルト云フコトニ爲ルト此先キノ規定ハマダ見マセヌカアルノカ  
 モ知レマセヌカ親族共カ私ニ寄ツテ親族會ヲ開テサウシテ其處テ  
 親族會員ヲ選定シタノハ無効ニ爲ル有效テナイト云フ趣意ニ爲ル  
 ノテアラウト思ヒマスカ果シテサウテアルカトウカ夫レカラ第二  
 項テアリマス「前項ノ規定ニ依ツテ招集スヘキ親族ナキトキハ戶  
 籍吏自ラ親族會員ヲ選定ス」前項ノ規定ニ依リテ招集スヘキ親  
 族ト云フト戶籍吏ノ知ラナイ親族夫レカラ遠隔ノ地ニ居ル親族  
 ハ之ヲ喚フニ及ハナイ斯ウ云フコトニ爲ツテ居リマスルノテ田舎  
 ナラハマダシモノコトテアリマスカ例ヘハ東京テ自分ニ例ヲ取ツ



テ申シマスルト私ノ如キハ東京市中ニハ親類ハ獨リモ無イ併シ國ニハどつさりアル併シ二百里モ先キテアリマスカラ遠隔ノ地テアリマス近在ニモアリマス五、六里隔ツタ所モアリマス之モ遠隔ノ地ト爲ルカトウカ之ヲ遠隔ノ地ト言フト戸籍吏ハ知ツテモ遠隔ノ地テアルカラ喚フニ及ハナイ又知ラナカツタトキハ無論喚フニ及ハナイサウスルト「戸籍吏自ラ親族會員ヲ選定ス」ト云フコトニナルト或ハ向フ三軒兩隣ノ者ヲ選定シテサウシテ自分カ都合ノ好イト思フヤウニ出來ル斯ウ云フ風ニ爲ツテ居ルヤウテアリマスカ果シテサウ云フコトニナルノテコサイマセウカ此「遠隔ノ地」ト云フコトカ實ハ餘リ漠トシテ居ルノテ戸籍吏ノ勝手ニ爲ルサウ云フ所カラ大變不都合ナ結果ヲ見ハ致シマスマイカ或ハサウ云フ譯テナイ私ノ間違ヒカモ知レマセヌカ如何ナル意味テコサイマセウカ夫レモ併セテ何ツテ置キマス

梅 謙次郎君 第一ノ御問ヒハ勿論此規定ノアル以上ハ此規定以外ニ於テ開ク所ノ親族會ハ法律上ノ親族會テナイ夫レテアリマスカラ其會ハ不法テモ何ンテモナイ代リニ其會テ議シタ事ハ法律上何等ノ效力モナイ第二ノ御問ヒハ固ヨリ此「遠隔ノ地」ト云フ字ハ極ノテ漠然タル字テ又懸サト漠然タル字ヲ用キタノテ只今御出シニ爲ツタ例ヲ鳥取ハ遠隔ノ地テアリマスカ四、五里位隔ツタ地ハ遠隔ノ地テハナイト思ヒマス實ハ「管内」トスルト戸籍吏ト云フ者ノ職務カラ考ヘルト大變能ク當ツテ居リマスカ夫レモ餘リ狭イト云フノテ夫レテ止ノマシタ「管内」ト云フヤウナ字テナイ「遠隔」讀ンテ字ノ如ク遠ク隔ツテ居ルト云フノテ四、五里隔ツタ所カ遠ク隔ツテ居ルト云フノテナイト思ヒマス此節ノ如ク交通カ段々開ケテ來ルト段々變ツテ來ルノテ四里ヤ五里位隔ツタノハ遠隔トハ言ハヌ若シヤ是カ百年モ前ナラハ四、五里テモ遠隔ノ地ト見



タカモ知レマセヌカ今後鐵道ヲモ蜘蛛ノ巢ノ如ク敷ケルト二百里  
ハトウカ知りマセヌカ四、五里位ハ人ハ遠隔トハ見ナイト思ヒマ  
ス

岸本辰雄君 私ノ言フノハ斯ウテアリマスサウスルト遠隔ノ地ト見  
タラ喚フニ及ハナイト云フノテアリマスカラ四、五里隔ツタ所ニ  
立派ナ親族カ居ツテモ夫レハ呼ハナイ夫レヲ戸籍吏カ喚ハナイテ  
夫レヨリモ向フ三軒兩隣リノ者ヲ喚ンテ宜シイト云フコトニナル  
カト云フコトヲ御尋ネスルノテアリマス

梅 謙次郎君 サウテナイ之ハ法律ニ「遠隔ノ地ニ居住スル」云々  
ト書テアリマス例ヘハ戸籍吏カ遠隔ノ地ト思フテモ法律カ遠隔ノ  
地ト認ノヌケレハ夫レニ付テ招集シタノハ無効テアル近在ニ親族  
カ居ルノニ喚ハナケレハ其戸籍吏ノシタ事ハ固ヨリ不法テアル夫  
レテアリマスカラ夫レニ付テ後ニ裁判所ニ不服ヲ訴ヘルコトカ出

來ルノテアリマスカラ畢竟ハ裁判所テ極ノルノテアリマス

高木豐三君 修正案カ出マシテ前會ノ意見ノ一部即チ親族會員ノ選  
定ハ親族ノ協議ニ依ルト云フ趣意ハ「親族會員ヲ選定セシム」ト  
云フ言葉テ其主義ハ暗ニ貫テ居ルノテアリマス、所テ此裁判所ヲ  
止ノテ戸籍吏ニスルト云フコトハ私ノ承ツタ所テハ確定シテ居ツ  
タヤウニハ思ハナカツタ先ツ私ニ於テハ色々考ヘマシタカ寧ロ戸  
籍吏ト云フ者ヲ以テ裁判所ニ代フルト云フ主義テナクシテ親族ニ  
一任スルト云フ斯ウ云フ主義テアリマシタカ其際ニ長谷川君カ言  
ハレタニ若シ親族カ選ハナカツタトキハトウスルカ親族カ選ハヌ  
トキハ誰レカ選フカ夫レヲ招集スル者カ無イト法律上必要ノ親族  
會ノ組織カ出來ヌテハナイカト云フ議論カアリマシタサウ云フ場  
合ニハ戸籍吏ニテモ招集セシノルヤウニシテハトウカト云フヤウ  
ナ意味テ修正ノ事ヲ願ツタカト私ハ覺エテ居リマス夫レニシテモ



尙ホ御熟考ノ上是非斯ウテナケレハナラヌト云フコトテアリマス  
 レハ原案トシテ御提出ニナルト云フコトハ無論差支ヘマセヌカ私  
 ハ前説ヲ主張シテ飽クマテモ矢張り親族ノ協議親族ノ任意ヲ協議  
 スル所ニ任カス斯ウ云フ主義ヲ採ルノテアリマス而シテ其協議ト  
 云フモノハ必スシモ招集シテ一堂ノ内ニ會シテ而シテ相對シテ協  
 議シテ極ノナケレハナラヌト云フ趣意ノ積リテハナイノテアリマ  
 ス夫レハ遠隔ノ地ニ居ル親族ナラハ書面テモ宜シイノテアリマス  
 或ハ遠隔ノ地カラ自分ハ往ケヌカラ親族ノ何ノ某ト何ノ某トヲ親  
 族會員ニシテ吳レロト云フ意思ノ表示カアレハ即チ協議ヲ以テ成  
 ルモノ是々ノ細則ヘ之ハ手續ニ關シマスカラ夫レハ別ニ議ツテ大  
 體親族ノ斯ウ云フ者ヲ喚ンテ相談スルカ宜シイト云フ事丈ケハ親  
 族テ郵便ナリ何ナリテ直チニ招集スル斯ウ云フノカ日本ノ古來カ  
 ラノ慣習ニ依ツテモ親族協議ノ必要ノアツタ場合ニハ皆夫レニ參

與シテ議スルト云フヤウナ先ツ風俗カアリマスルノデサウ云フ者  
 ニ任カシタカ宜カラウト云フノガ私ノ趣意デアリマス夫レテ戸籍  
 吏ノ知ラナイ親族或ハ遠隔ノ地ニ居ル者ハ招集シナイデ宜シイト  
 云フコトハ之モ法律ノ規定ニスレバ無論差支ナイコトデアリマス  
 ケレドモ斯ウ云フコトヲ法律ト唱ヒ出スト云フコトハ餘リ面白ク  
 ナイ勿論戸籍吏ハ法律上テ幼者若クハ他ノ無能力者ノ親族ト云フ  
 モノハ系統ハ斯ウ云フ者デアルト云フコトハ略ホ分リマセウガド  
 ウモ遠方カラ縁付テ來テ居ル者トカ或ハ姻族ノ關係等ニ至ツテハ  
 果シテ其人ガ生キテ居ルカ死ンデ居ルカ其戸籍ハ實家ノ方ニアル  
 モノデアリマスカラ實際分ラヌ者ガ多カラウト思ヒマス例ヘハ私  
 ノ家内ノ里ノ方ノ死亡トカ何ントカ云フモノハ私ノ方ノ戸籍ニハ  
 決シテ乘リマセヌ兄弟モ亦然リ夫レデアリマスカラサウ云フ者ハ  
 矢張り斯ウシテ置テモ戸籍吏モ實際ハ矢張り親族ノ者ニ就テ聞カ



ナケレバ分ラヌ夫レデアルカラシテ斯ウ云フ事ハ先ツ法律ニ可成  
言ハヌテドウカ圓滑ニ往クヤウナコトニ一ツ願ヒタイノデアリマ  
ス唯タ私ノ希望丈ケテ逃ヘテ置キマス

議長（笑作崎祥君） ドウシヤウト云フノデスカ

高木豊三君 夫レハ矢張り前ノ趣意ノ如ク

議長（笑作崎祥君） 戸籍吏ヲ正シテドウスルノデスカ

高木豊三君 矢張り此條ヲ直ホシマスル「戸籍吏」ハ省テ「會議ヲ

要スル事件ノ本人戸主、親族後見人、後見監督人、保佐人、檢事

又ハ利害關係ハ之テ招集ス

議長（笑作崎祥君） 親族ヲ招集スデアリマスカ

高木豊三君 「親族ヲ招集シテ親族會員ヲ選定ス」ト云フ意味ニ爲

ルノデアリマス

議長（笑作崎祥君） 但書ハ削ルノデスカ

高木豊三君 サウテス

横田國臣君 私ハ此前ノ會議ニ於テ矢張り到底之ヲ法律的ニヤラウ

トスレハ此原案ノ方ニハ幾分カ修正ヲ加ヘルノテナケレハナラヌ

ト云フコトヲ申シマシタ夫レテ今又此戸籍吏ト云フ者カ立入ツタ

所カ高木君ハ戸籍吏ハ入レヌカ宜シイト云フコトデアリマス、テ

戸籍吏チ之ニ入レテ何ソノ役ニ立ツノカ私ハ分ラヌ何セナラハ戸

籍吏ハ戸籍ヲ掌ツテ居ル乍併唯々戸籍ノ掌ツテ居ルト云フ丈ケテ

トウ云フ者カ居ルカ知レマセヌ何此處ニ「戸籍吏カ知ラサル親族

」トアリマスカ戸籍吏カ親族ヲ悉ク知ツテ居ルヤウテ「知ラサル

親族」デアルカラ知ラサル場合モアリマセウカ一體戸籍吏カサウ

親族ヲ知ラウ譯モナイシ私ハ戸籍吏ノ任カナイコトハ此前モ重岡

君カラシテ大變言ハレタノテ夫レカ賛成ナノテスカ夫レテ之ヲ又

高木君ノ通りニスルノハ成程夫レハ幾分カ慣習ニ適ウカモ知レヌ



カ慣習ニハ親族會ト云フモノハナイケレトモ何か事カアレハ親族  
カ打寄ツテ相談スル夫レカ慣習テアル何處ノ國テモ自然出來テ  
居リマス、ケレトモ之テ今法律ニ定メテ法律的ニヤラウトスレハ  
高木君ノ言ハレルヤウナコトニスルトトウシテ宜シイカ賦ニ稱ミ  
ヤウカナイヤウナコトニナリマス親族カ寄ル雖レカ寄ルカ親族カ  
雖レカ寄ルタラウ丸テ云フ法律的ニヤラントシテモ私ハ法律的ニ  
スレハ性キ兼ヘル夫レカ唯ダ是迄ノヤウニ法律的ニ性カスシテ裁  
判官カ認メテモ宜カラウ親族カヤツテ宜カラウト云フヤウナコト  
チ言ツタノハ夫レハ宜シイカ乍併之テ法律的ニヤルトスレハ若シ  
夫レカ大變害カアツテ親族ノ惡ルイ奴ト組合ツテ惡ルイ奴ヲ選舉  
チシタトキハトウスルカト云フ弊モ見ナケレハナラヌカ其弊ヲ見  
ルコトハトウモ無イ夫レハ高木君ハトウトカスルト云フ方法ハア  
ルカモ知レヌカ夫レテ高木君ニモウ少シ御考ヲ願ヒタイノハ親族

協議ト云フコトハ言葉ハ賦ニ宜シイ大概ノ人カ親族カ相續シテヤ  
ルト云ヘハ直様贊成ト云フノテ夫レハサウ爲ルニ違ヒナイカ今迄  
親族カ寄ツテシタト云フハ夫レト親族寄合タト云フヤウナコトテ  
夫レナラハ宜シイカ法律的ニ之チスルノナラハトウモ之ハ分ラヌ  
夫レテ其處カ繼リサヘスレハ宜シイ夫レテ私ハ此前ニモ申シマシ  
タカ此親族會ト云フモノハ名ハ賦ニ宜シイ、ケレトモ此親族ト云  
フモノカ後見人テモ置クノナラハ大層良イ奴カ置クノテアルカ  
其親族ノ金持ヲ置クカ其伯父トカ云フヤウナ者ハ却テ惡ルイコト  
ナスル奴カ多イ夫レハ例ヲ引クカ子供ニ己レカ死ンダトキニあそ  
にニ性ツテ居レハ宜イ親族ノ者カ取ラウト言フトキニ苦情ヲ述ヘ  
レハ宜シイト云フコトテ夫レテ自分カ死性ツテ居ツタト云フコト  
モアル夫レハ始終アル夫レハ或ル嘘ヒ話シタカ夫レハ防クコトハ  
一寸モナイ高木君ノ説ニスルト——夫レテ今迄ノ時代ノ



ヤウナ親族會ト云フモノカスレハ夫レハ悪ルイト云フタ折リハソ  
 ンナ事ヲシテ性クカト云フコトテ打消サレルノナラハ宜シイカ、  
 ケレトモ法律カ之ヲ善カナカツタ以上ハトソナ悪ルイ奴カ選ハレ  
 ヤウカ法律カ極ノタ以上ハ夫レニ關係シテ性クコトハ出來ヌト思  
 ヒマス其點カラ論スルト此以前立ツタ方ハ餘程法律的ニナツテ居  
 ツテ弊モ餘程防テ性クト思ヒマス夫レテ諸君ハ親族相續ト云フ  
 コトニ直チニ意ヲ注カナイテ之ヲ法律ニスルニ付テハ法律的ニシ  
 テサウシテ弊ヲ防クト云フコトニ御注意アラソコトヲ希望スルノ  
 テアリマス夫レテ私ハ此原案ノ裁判所カ選定スル之ハ宜シイト思  
 ヒマス之ヲ唯々悪ルク言ハレル方カラ言フタナラハ之ハトウモ官  
 ノ壓制トカ何ントカ云フカモ知レヌカサウテナイ實事カ、サウシ  
 テ又裁判所ト云フノハ唯々隔ノ者カ嫌ウト云フコトテアリマスカ  
 是ニシテモ唯々裁判所ニ屬者ヲ出セハ宜シイトウカ親族會ヲ關テ

吳レト首ヘハ直様裁判所テ檢事カ受取ツテ是カ宜シイト云フコト  
 テ定ノルト云フコトニスルカー一番宜シイト思ヒマス之ハモウ一ツ  
 御考ヲ願ヒマス

高木豐三君 横田君カラ御注意ヲ受ケマシテ私モ實ハ考ヘマシタカ  
 私ノ案ハ法律的テナイト云フコトテアリマスカ如何ニモ法律的テ  
 ナイ横田君ノ言ハレル法律的ト云フノハ詰リ法律ノ力ノ強制カ一  
 變ヘサセルヤウニシテ置カヌト性カヌト云フコトテア  
 ラウト思ヒマス（此時横田委員「サウテナイ、、、、、カ付  
 テ居レハ宜シイ」ト呼フ）夫レナラハ非訟事件ノ關係ニ付テハ婚  
 姻トカ其他裁判所ノ干渉ヲ受ケテ實ヲ持ツト云フコトハナイ夫レ  
 テ横田君ノ所謂法律的ニスルト云フノハ親族カ選定シテ届出ル夫  
 レニ不服ノアル者ハ裁判所ニ上訴シテ改メテ貰ウト云フ斯ウ云フ  
 途カ明ケテアリマス悪ルイ親族ト頼リニ仰ツシヤルカ吾々ノ考ハ



如何ニモ訴訟事件ニ爲ツテ來テ居ルナラハ悪ルイ者ノ爲ノニ争ヒ  
ニ爲リマスケレトモ夫レハ僅々タル變例テ是迄ノ日本ノ美風ト云  
フカ風俗ト言フカ例ヲ以テ言ヘハ一家ノ變ニ當ツテ親族カ斷ケ集  
ツテ親切ニ其家ノ爲ノニ謀ルト云フノカ日本ノ風習ト思ヒマス其  
中ニ偶々悪ルイ者カアツテ悪ルイコトチスルト云フコトテアレハ  
私ノ修正案テモ明キ途カ付ケテアリマス夫レテ初ノカラ裁判所カ  
喚ヒ出シテ親族ノ會議ヲ開クト云フヤウナコトチスルノ必要ハ少  
シモナイト思ヒマス横田君ノ言ハレタ通り戸籍吏カ往カヌト云フ  
コトハ私モ全ク同意テアリマス夫レテ嚴ノシイ裁判所カ往カヌト  
スレハ矢張り親族ノ協議ニ任カストシテ其選定ノ後ニ若シ不服者  
カアツタナラハ訴ヘルコトトシテ何ソノ差支カコサイマセウカ唯  
タ法律的ニスルト斯ウ云フ不都合カラウト思ヒマス其時ニ通知  
カナカツタトカイヤ出シタトカ云フヤウナ恐レカ成ハ生スルカモ

三州學務部

知レマセヌカ夫レハ裁判所ニ出シテ不服チ言フ途カ明ケテアリマ  
ス唯タ長谷川君ノ言ハレタ所ノ親族カ招集チシナイトキハトウス  
ルカ後見人モ要ル後見監督人モ要ル從ツテ親族會モ要ル皆法律ニ  
規定シテアリマス即チ親族ノ義務テアル其義務チ多數ノ親族ノ中  
ニ一人モ充タサウト云フ考ノアル者カナイト云フコトニ見ルノハ  
餘リ親族ハ悉ク難敵ナリト云フ議論ニ當ルト思ヒマス多數ノ親族  
ノ中ニハ法律チ知ツテ居ツテ之ハ親族會ヲ開カナケレハナラヌト  
云フコトニスルノハ命令チ俟タスシテ日本國ニハ行ハレヤウト思  
ヒマス唯タ長谷川君ノ御注意ノ點ハ夫レハ如何様ニモ親族カヤラ  
ヌトキハトウスルト云フ途チ明ケルノハ宜シイト思ヒマスカ横田  
君ノ御説ニハ服從スルコトハ出來ヌノテアリマス

長谷川 喬君 私ハ議長始ノ其他ノ諸君ニ能ク御注意チ願ヒタイコ  
トハ前會ノ決議ハ親族テ招集スルト云フコトヲ根據トシテ夫レカ

日本學務部



ラ其方法ヲトウスルト云フコトテアツタラウト思ヒマス然ルニ今  
 此案ヲ見ルト舊トノ九百四十八條九百四十九條中ノ唯タ「裁判所  
 」トアルノヲ「戶籍吏」ト變ヘタト云フ丈ケヨリ外ハ何モ變ハリ  
 ハナイヤウニ思ヒマス夫故ニ横田君カラ前會ニ裁判所ハ往ケナイ  
 ト云フコトカ確定シテ居ルニモ拘ハラヌ復タ裁判所カ宜シイト云  
 フ論カ出マシタ夫レテ之ハ既ニ前ニ極ツテ居リマス夫レテ今日復  
 タ裁判所ニスルト云フ説ハ賛成カ出來ヌト思ヒマス夫レテ起草者  
 ニ御願ヒスルノハ高木君ノ辯セラレダ如ク親族カ親族會ヲ集メル  
 ト云フコトヲ根據トシテ夫レカラ尙ホ親族カ集メナイ場合ニ於テ  
 ハ誰レカ集メル者カナケレハナラヌ夫レハ戶籍吏カ集メルカ裁判  
 所カ集メルカ其事ハ極ツテ居ラナケレハナラヌ私ハ戶籍吏ニスル  
 コトヲ希望シテ居リマスカ兎ニ角親族カ集メルト云フコト丈ケハ  
 極ツテ居リマス然ニ此案テハ「裁判所」カ「戶籍吏」ト直ツテ居

ル丈ケテ前會ノ決議ニ從ツテノ規定トハ考ヘラレマセヌガ夫レハ  
 私ノ考ノ違ツテ居ルノカ何カ其間ニ往キ違ヒカアリハシマスマイ  
 カ

梅 謙次郎君 サウ云フ事ノナイ爲メニ此前モ念チ押シテ置キマシ  
 タ此前十人十色ノ説カ出マシタ皆少シ宛違ウヤウテ一ツノ説ニ全  
 然御賛成カアツタト云フコトハナカツタト思ヒマス而シテ唯原案  
 カ具合カ悪ルイト云フコト丈ケ當時御論ニ爲ツタ御方ノ一致テア  
 ツタト思ヒマス夫レテ私共ノ御願ヒテシタノハトウカ主義チはつ  
 きり極メテ嚴キタイ到底私共ノ考ト諸君ノ御考ト違ツテ居リマス  
 カラ或ハ諸君ノ御考ト違ツテ來ルカモ知レヌカラ御一致ヲ願ヒタ  
 イト申シマシタガ夫レハ六カシイカラ何ンノコトハナイ裁判所テ  
 親族會ヲ招集スルト云フコト止メテ唯タ親族協議ヲ以テ親族會  
 員ヲ選定スルト云フコトチ土臺トシテ決チ採ツテ其方法ニ立ツテ



ハ起草委員ニ勝手ニ極メテ吳レロト云フ御説テアリマシタ而シテ其當時議場ニハトウ云フ説カ出テ居ツタカト云フト長谷川君モ亦高木君モ今申サレタヤウナ御論テアリマシタカラ決シテ變説トハ申シマセヌカ外ノお方ハ皆サウテアツタラウトハ思ヒマセヌ裁判所ノ如クセヨト云フお方モアツタ又本野君杯ノ御説テハ裁判所ノ認可ヲ受ケサセテハトウカト云フ御説モアリマシタ又奥田君ハ矢張り初ノカラ明瞭テアリマシタガ戸籍吏ニ親族ヲ喚バシテサウシテ其喚ンタ親族間テ親族會員ヲ選ハシノルト云フコトニシタラトウカト云フ御説テアリマシタ成程夫レニハ反對モアリマシタ重岡君モ反對テアリマシタ横田君モサウテアリマシタ横田君ハ寧ロ私共ト同論テアリマシタ夫レテ多數ノ御意見ハ何處ニアルカト云フコトニ付テハ親族テ以テ親族會員ヲ選フト云フ事ヨリ外ニ顯ハレテ居リマセヌ今日ノ案ガ此前ノ決議ト違ウト云フコトハトウモ分

ラヌ是テ懸ルケレハトウカ案ヲ出シテ載キタイ他ノ長谷川君ノ御案ハ僅カノ違ヒテ殆ント同シ趣意テアリマスガ此御案ハ此前申シタコトテアリマスガ一ツ根本ニ於テ所謂横田君ノ法律的テナイト云フ所カアツテ法文ニ掲ケルコトカ出来ヌト思ヒマシタ親族協議

—— 親族協議ト云フト一人テモ異議ガアルトモウ協議テナ

イ多數決ヲ壓制シテ宜シイト云フコトハ法文ガ無イト往ケマセヌ協議テハ往ケマセヌ又親族ト云フト此親族ハ殘ラス出ナケレハナラヌカ此前土方君テアリマシタカ殘ラス出ナケレハナラヌト云フコトテアリマシタガ若シサウテアレハ親族會ハ實際行ハレタモノテアリマス去レハト云ツテ公ケノ力ヲ持タナイモノカ招集スルノナラハトウ云フ人間ヲ選ンテ集メルカ初メ集メル人間ハ身體ヲ持ツテ來ナクテモ手紙ヲヤル親族ノ僅カナ人ニ取ツテハ殘ラス招集スルトカ殘ラス手紙ヲ遣ルトカ云フヤウナコトハ或ハ出來ルカモ



知レナイカ併シ多勢アル場合ニ皆ニ通知シナケレハナラヌト云フコトテアツテハ非常ニ煩ハシイコトテアリマスルシ若シヤ獨リテモ抜ケテ居ツタラ夫レハ何ウナルカ不服ヲ唱ヘルコトハ許シテアリマスガ併シ之モ高木君ノ案テハ制限ハナイヤウテアリマスガ何十年立ツテモ不服ヲ唱ヘル其不服カアツテ若シ夫レカ不法テアツタト云フコトニ爲ルト其親族會テシタ事ハ無効ニ爲リマス是カ無効ニナラヌノハ斷トイ斷シテ協議ト云フト都合ノ宜イ斷シテ親族カ寄ツテ都合ノ好イ事ヲ協議シテ後トカラ不服ヲ唱ヘテモ往カヌ今吾々カ寄ツテヤラナケレハナラヌト云フコトテ不都合ノ事ヲ議決シテ執行シテ仕舞ウ夫レカ無能力者ニ對シテ全然有效テアリテ後トテハ如何トモスルコトガ出來ヌト云フコトニナルト夫レコソ親族會ハ有害無益ニ爲リマス高木君ガ顛リニ言ハレル慣習、自然的ノ必要ヲ親族ガ寄り合ツテスルト云フコトテアリマスガ夫レ

ハ何處ノ國ニモアリマス夫レハ法律的ノ親族會テアリマセヌ夫レ法律ヲ頓着スル所テナイ法律ヲ頓着スル所ハ法律ヲ以テ與ヘラレタ権限ニ依ツテ夫レテ決シタモノハ決シテ動カスコトノ出來ヌモノテアリマスサウ云フ力ノアルモノテアリマスカラ初ノノ組織モ法律ノ力テ完全ニ出來テ居ラナイト其結果ガ違ウノテアリマス折角、無能力者ヲ保護シヤウト云フノカ何モ爲ラヌヤウテ爲リマストウカ其邊ヲ十分御考ヘニ爲ラヌト到底法文トシテ立テルコトハ出來ヌト思ヒマス又方法ハ初ノニ説明シマシタ如ク吾々ハ完全無缺トハ思ヒマセヌ夫レハ前會ニ惡ルイト極ツタカラトウ云フ方法テモ宜シイガ極マリサヘ付ケハ宜シイ

長谷川 喬君 今梅君ノ御答辯ニ依ツテ見ルト前會ノ決議ハ吾々ノ信スル所ト同シニ爲ツテ居ルト思ヒマスガ即チ親族ノ協議テ以テ親族會ヲ開クト云フノガ根本テ其他ノ事ハ起草委員ニ於テ極メ



ト云フコトテアリマシタカ然ルニ此案ヲ見ルト親族ノ協議ト云フコトハ私ニハ見エマセヌ夫レハトウカナラハ唯タ親族ハ請求スルコトガ出來ルノテアツテ協議ノコトハ一ツモアリマセヌ即チ戸籍吏ガ親族ヲ招集シテ親族會員ヲ選定スルト云フノテアリマス親族ノ協議ト云フコトハ私ニハ是テハ見エマセヌカラ夫レニ今伺ヒタイノハ此案ヲ私ノ見ル所カ違ツテ居ルノテアリマスカ今御答ヘノ主義テハ此處ニ違セナイヤウテアリマス

梅 隆次郎君 夫レハ言葉ノ上テアリマス雖レカ選定スルカ親族カ選定スル舊トノ案テハ裁判所ガ選定スル夫レチ戸籍吏ガ選定スルト云フコトナラハ長谷川君ノ御論ハ御尤モテアリマスガサウテナイ此案ハ吾々ノ案テナイ奥田案ト言ツテ宜シイ

高木豐三君 私ハモウ一言致シマス第一ニ此法律的テナイト云フコトニ付テ尙ホ横田君ナリ梅君ナリニ願ヒタイノハ近い例チ出セハ

親族會ニ付テ裁判所カ選ハナイト法律的テナイト云フ論ハ後見人ハ如何テゴザイマセウカ後見人ノ時ニハ如何テゴザイマセウカ實際幼者ノ爲メニ教育ナリ又ハ財産上ニ付テ直接ニ實權チ有シ直接ニ管理チ爲ス後見人及ヒ後見監督人ハ何故ニ之チ裁判所テ指定スルヤウニ御極メニナラヌノカ若シ夫レカ法律的テナイト云ヘハ其理由ハ少シモ分ラヌ又親族ガ惡イ者テアルト云フ事チ根底ニシテ御議論ニ爲ル様テアリマスガ惡ルイ親族ガアツタラトウスルカト云フ事テアリマスカ之ハ私共ノ考ニスレハ裁判所ニ於テハ却テ親族ノ關係ハ分ラス然シ裁判所カ之チ選定スルト爲夫レコソ其中ニ惡イ者カ加ツテ居ルカモ知レヌ幼者ノ不利益ノ者カアルカモ知レヌ今日梅君ハ裁判所ニ訴ヘル事ハお前ノ案テ許シテ居ルカ其間テ不利益ノ事チシタナラハ其間ニシタ事ハ有效テアルヤ否ヤト云フ事テ前會ニモ御質問ガアリマシタガ只今夫レガ有效ナラハ夫レハ大變ニ爲ル事ト



テアリマスガ裁判所テヤツタカラトテ裁判所ノ選ンタ親族ハ皆幼者ノ爲メノミチ圖ツテ不利益ナ事ハシナイ惡ルイ事ハ爲サヌト云フ事テゴザイマセウカ之ハ梅君ト雖モ決シテ斷言ハ出來ヌト思ヒマス若シ不利益ノ事ヲシタラトウスルカト云フ事モ之モ論結ハ同シテアリマス私ノ考テハ決シテ無効ニ爲ラナイ若シ取消サレルト云フコトナラハ其案ヲ定メナケレハナラヌ若シ夫レカ爲メニ損害カ生シタナラハ賠償ノ責カアリマス親族會ニ獨リ惡ルイ者カ居ツタト云フコトテ夫レマテニシタ行爲ガ全ク無効ニ爲ルト云フコトハ決シテナイト思ヒマス序テニ一言シテ置キマスガ長谷川君カラ御注竟カアリマシテ若シ親族ニ於テ親族會員ヲ選定シナイトカ若シタハ親族會ヲ招集セスト云フ場合ニハ則チ裁判所カ干涉チシテモ宜シイ長谷川君ハ戸籍吏ト云フ事ヲ仰ツシヤツタガ斯ル場合ニ於テ非常ナ效力ヲ持ツ場合ニハ無論裁判所ガ關係シテ宜シイノテ

アリマス唯タ權便ニ濟ム場合ニ他人ヲ入レテ却テ選定ニ當チ得ヌヤウナ事カアツテハ好マシカラヌト云フ趣意ニ外ナラヌノテアリマス

梅 謹次郎君 兎エ角議論ニ爲ルノテ甚タ歎ハシイノテアリマスガ

私ハ今日ニ爲ツテ裁判所説チ主張スルノテハアリマセヌカラ頼リニ其點カラ攻撃サレテハ迷惑テアリマスガ一言高木君ノ只今ノ點ニ付テ御答ヲスルト斯ウ云フ事ニ爲ルノテアリマス此裁判所テ選フト云フコトニナリマシタトキニ其裁判所テ以テ若シヤ法律ニ違ウタ選ヒ方チシタナラハ夫レハトウ爲ルカ圖ヨリ其場合ニ於テハ裁判ノ效力如何ト云フコトヲ考ヘレハ宜シイ裁判所テ選ヘハ其效力ヲ見レハ宜シイ裁判ノ效力ニ爲ル夫レハ手續法ニ定メルカラこもラニハ規定ヲシナイ普通ノ場合テハ其裁判ガ確定チスレハ命令ヒ惡ルイ裁判テモ夫レハ違奉シナケレハナラヌモノテアリマス夫レテ



アリマスカラ裁判ナラハ分ツテ居リマスガ加之ナラス裁判所カ立  
 入ルノナラハ其人ガ適任カトウカト云フコトハ保證ハ出來マセヌ  
 ケレトモ不法ナル選舉ナスルト云フコトハ稀レテアルト考ヘナケ  
 レハナラヌ夫レニ反シテ親族ガ唯タ寄ツテたかつテスルト云ヘハ  
 其親族ハ法律ヲ知ツタ者ハ少ナイテアリマセウカラ継命ヒ悪ルイ  
 コトヲシヤウト云フ人間テナクテモ法律ニ違ウタ事ヲスルコトガ  
 最モ多ヒト思ヒマス然ニ法律ヲ斯ウ云フ條件ヲ設ケテアリナカラ  
 其條件ニ充タナイモノヲ以テ矢張り親族會ノ決議トスルコトハ夫  
 レコソ法律的テナイト思ヒマス到底裁判所ガ選定スルノト唯タ親  
 族ガ籌ツテたかつテ選定スルノトハ大ヒナル違ヒカラウト思ヒ  
 マス勿論人が善カツタトカ悪ルカツタトカ云フ爲メニ夫レハ法律  
 行爲カ有效カ無効カト云フ問題ハ起ル夫レタカラ人ヲ選フニハ不  
 公平ガナイヤウニ偏頗ノナイヤウニ勢力少ナイヤウニ法律ハヤラ

ナケレハナラヌ私ハ度々申シタコトテアリマスガ一體親族關係ニ  
 付テハ尙更テアリマスガ法律ガ實際ニ適用サレル場合ニ法律カ要  
 ルノテ不都合ノアル場合テ高木君ノ言ハレルヤウナ十分圓滑ニ往  
 タ所ノ平常ノトキニハ法律ハ要リマセヌ夫レテ少シハ不都合ノア  
 ツタトキニ法律ノ適用カアリマスサウ云フ場合ニハ始末カ付クヤ  
 ウニシナケレハナラヌ悪ルイ者ハ百アル中ニ其中ノ一ツカニツシ  
 カアリマセヌ夫レニシテモ其百ノ九十八、九マテハ法律ノ御厄介  
 ニ爲ラヌテ済ミマス其百ノ中ノ一ツカニツ親族ノ中ニ悪ルイ者ノ  
 アツタトキニハ矢張り法律ヲ嚴シクシテ置カナケレハナラヌ尙ホ  
 高木君ハ親族協働カ法律的テナイト云フノテ頼リニ非難スルガ後  
 見人ヤ後見監督人ハ法律的テナイガトウカ——ト云フコト  
 テアリマスガ之ハ阿シイ御話シテ後見人ヤ後見監督人ハ悉ク法律  
 的テアル裁判所テ選フト云フコトハ言ヒマス何處テ選ンテモ宜シ



イカ其選ヒ方ガ利害關係人ノ勝手次第ニ出來ルヤウニ爲ツテ居ラ  
 ナケレハ宜シイ後見人ト云フモノハ或ハ場合ニハ法律的テナイ或  
 ル場合ニハ遺言ト云フモノヲ重ンスル夫レカラ或ル場合ニ於テハ  
 親族會ヲ選定ナスル此親族會ヲ選定スルコトヲ極メタトキノ考ハ  
 恰モ此親族會ト云フ者ハ法律的ニ爲ル積リテ從來ノ親族會ノヤウ  
 ナ不極リノモノテナイノテアリマスカラ夫レテ親族會ト致シマシ  
 タ現ニ後見人杯ニ付テモ祖父ヲ當然後見人ニシヤウトカ云フ案モ  
 出マシタカ是ニ付テハ色々不都合モアルカラ寧ろ親族會ヲ選ハシ  
 ノルカ宜シイ左モナケレハ往カヌ但親族會ノ決議ニハ少數テモ不  
 服ヲ申立テルコトカ出來ル若シ親族會カ不當ナ事ヲスレハ裁判所  
 ニ訴ヘテ夫レヲ取消シテ貰ウコトカ出來ル夫レテ祖父ハ當然ニハ  
 後見人ニ爲レナイト云フコトニ極ツタ夫レハ親族會ト云フモノハ  
 此案ヲ法律的ノコトヲ豫定シタ譯テアル後見監督人ヲ親族會ヲ選

ハシノルト云フコトモ亦同シコトテアリマステ向フハ法律的ニ爲  
 ツテ居リマス其肝腎ノモノヲ法律的ニシナイト向フマテ殘ラズガ  
 法律的ニ爲ラナイカラ夫レナラハ寧ろ風俗慣習ニ任カシテ法律的  
 ニシナイ方ガ宜シイト云フ極端ニ爲ラナケレハナラヌ法律ヲ以テ  
 干涉シナイカ宜シイト云フ結果ガ出テ來テモ仕方ナイト思ヒマス  
 其處ヲ御考テ願ヒタイ高木君ノヤウニ之カ若シ法律的ニ爲ラヌト  
 後見人ヤ後見監督人杯ハ法律的ニ爲リマセヌ夫レハ覺悟シテ貰ハ  
 ヌト圖ル法律テ幾ラ八益數イ事ヲ申シテモ肝腎ノモノガ悪ルイモ  
 ノニ爲ツテ何ソノ役ニモ立たヌト云フ法律的ノモノモ何ソノ後ニ  
 モ立たヌト思ヒマスカラ其處ヲ十分御考ヘテ願ヒタイノテアリマ  
 ス

土方 寧君 今日ノ修正案ニ根據ツテ見ルト前會ノ大體ノ決議ハ親  
 族ガ集ツテ選定ナスルトシタコトテアリマシタガ夫レハ招集スル、



者ハドウカト云フコトモ話シガアリマシタガ長谷川君ノ御諭モアリマシタガ大體ハ注文通りニ案ガ出來タト思ヒマス此招集スルノハ親族カスルト云フヤウナ其始マリガ極ラ又夫レテ始ノ丈ケハ極ノテ實ヒタイト思ヒマス夫レテ私ハ戶籍吏ガ招集スルト云フコトチ宜カラウト思ヒマス乍併夫レニ付テム手續ハ此處ニ顯ハレテ居リマスガ尙ホ之ニ付テ考ヘテ見ルト分ラヌ所カアリマスカラ二、三點伺ヒマス此二項ノ終リノ文テアリマスガ「親族力之ヲ選定スルコト能ハサルトキ亦同シ」此「能ハサルトキ」ト云フノハドウ云フ場合チ言フノテアリマスカ一項ニ本人等ノ請求ニ因ツテ戶籍吏力招集シテ親族會員ヲ選定セシムルトアリマス之ハ何レ戶籍吏ガ招集シテ親族力集ツテ協議ノ上テ親族會員ヲ選フ極レハ宜シイ極ラヌニシテモ多數決ニ依テ選定シテモ宜カラウ、所ガ協議モ行届カヌ多勢アツテモ極ラナケレハ多數決ニ依ツテヤルヨリ外仕方

ナイト云フヤウナ場合テモ意氣地ナ者ニナラウト思ヒマス、サウスルト親族會ト云フ或ル團體カ出來テモ居リマセヌカ親族會員ヲ選フトキハトウスルカト云フコトニ爲ルト極ラナケレハ仕方ナイ詰リサウ云フ場合ニハ戶籍吏力選定スルト云フコトニ見テアルノカモ知レマセヌガ此「能ハサルトキ」ト云フノハドウ云フトキチ言フノテアリマスカ夫レテ伺ヒタイ選定ハ協議カ出來レハ宜シ出來ナケレハ多數決ニ依ル夫レモ往カヌトキニハ戶籍吏ガ選フト云フコトアルガ夫レテ伺ヒタイモウ一ツハ一項ノ但書ニ違隔ノ地ニ居ル親族ハ招集ナイテモ宜シイト云フコトテアリマスガ之ハ「違隔」ト云フ字ハ大變ほんやリシテ居リマスガ詰リ斯ウシテ置クト各場合ニ付テ伸縮自在テアルカラ都合ガ好イテゴザイマセウガ尙ホ此外ニ或ハ招集セラレタ親族ノ中ニ何カ妨ケラレタトカ病氣トカテ招集サレテモ應スルコトカ出來ヌト云フヤウナ場合ニハ其



事情が去ルマテ俟ツテ夫レカラ更ニ集ノルノカ又ハサウ云フ者ハ仕方ガナイカラ招集シナクテモ宜シイカ夫レカ分ラヌ私ノ考テハ前ニ申シマシタ通り親族ハ皆集メタイト云フ趣意テアリマシタケレトモ大變遠方ニ居ル者ハ招集カ出來ヌテゴザイマセウカ、ケレトモ特別ノ事情ノアル者ハ喚ンテモ來ラレマイサウ云フ場合ニハ意見ヲ親族會ニ出スコトカ出來ルヤウニシテ宜シイト思ヒマスガ斯ウ云フヤウニシテ置クト招集シナクテ宜シイ者カーツシカ舉ゲテアリマセヌカラ却テ他ノ場合ヲ除外スルヤウニ見ヘハシマスマイカ其處ノ御趣意ヲ承リタイ此修正案テハアリマシタガ全體審トノ原案テハ裁判所テ選フト云フコトテアリマシテ親族會員ニ選ハレルニハ舊トノ九百五十一條テハ範圍カ極ツテ居リマシタガサウ云フヤウナモノテナイ場合ニ親族會員タル資格ノコトハ一向極ツテ居ラヌヤウテアリマス夫レハ裁判所カ極メレハ成ル丈ケ男ヲ選

フトカ年長者ヲ選フトゴザイマセウガ未成年者杯ハ多分選フト云フコトハアリマスマイカ裁判所ガ選フ場合ハサウ云フ事モゴザイマスマイガ今度ハ親族ガ選フト云フコトテアリマスガ親族ガ宜イトスレハ未成年者テモ——未成年者テアツテモ十九才位ナラハ親族會員トシテ宜シイテゴザイマセウ夫レテ其邊ハ親族ノ考ヘニ任カシテ置クト云フコトテアリマスカ夫レニ付テ親族カスルト云フ事ニ爲ツタカラ親族會員タル事ヲ得ル資格ハ一向極ラヌカトウカト云フコトヲ伺ヒタイ

梅 謙次郎君 御答ヘ致シマス第一ノ點ハ本條第二項ノ親族會員ヲ選定スルコト能ハサルトキ此場合ハ如何ナル場合ヲ言ツタカト云フ御問ヒテアリマシタガ之ハ初ノ吾々カラ説明スル方ガ宜カツタカモ知レマセヌガ今更足ラナカツタノチ悔ユルノテアリマス之ハ斯ウ云フ場合ヲ見タ積リテアリマス此人ヲ選フ場合ニ於テノミ起



ル問題テアリマセヌガ人ヲ選フ場合杯ニ能クアル事テスガ例ヘハ  
 親族カ四人寄ツタ四人寄ツテ二人ハ或ル甲ヲ選ホウト云ヒ跡ノ二  
 人ハ乙ヲ選ホウト云フトチラモ多數ニ爲ラヌサウスルト到底決議  
 ハ出来マセヌサウ云フ場合ニハ戶籍吏ガ選フノ外ナイ其兩人ノ中  
 一人ヲ選フカ夫レトモ掛ケ構ヒノナイ第三者ヲ選フカサウシナイ  
 ト始末ガ付カヌ土方君カ言ハレルヤウニ此場合ハマタ親族會テナ  
 イカラ多數テヤルト云フ事モ先ツ夫レカ協議テ極ツタ上テナケレ  
 ハ往ケマイト云フ御話シテアリマスサウ云フ御説モ或ハ出ルカモ  
 知レマセヌカラ其點ヲ明カニ規定スルカ宜シイト云フ皆サンノ御  
 考ナラハ夫レヲ入レルノハ格別異議ハアリマセヌガ之ヲ入レナカ  
 ツタノハ故寛テアリマス固ヨリサウ云フ問題ノ起ル事ハ豫想シテ  
 サウ云フ事ハ理窟カラ言ヘハ一々極メタ方カ宜カツタカト云フ事モ氣  
 カ付イテ居リマシタガ實ハ吾々ハ裁判所ヲ立入ラシメタ所ロカ親

族ハ矢張り親族テ所謂親族的ノモノテアリマス幾ラ之ヲ規則立ツ  
 タ所ノ法律的ニシタ所ガ是カ裁判所ノヤウナ嚴ノシイモノニスル  
 トカ少ナクモ議會ト云フヤウナモノニスルトカ云フモノテナクシ  
 テ餘程親族的ノ懇話的ニスルモノト云フ考テアリマス夫レチ餘リ  
 鹿爪ラシクスルト愈々嚴重ニ爲ツテ愈々角立ツタモノニ爲ルカラ  
 ト云フノテ角立ツタモノテナイ規定ニシタイト云フ考テ實ハ氣付  
 テ居リマシタガ實際困リハスマイト云フヤウナ事ハ打擲ツテアリ  
 マス夫レテアリマスカラ今ノ多數決ノ問題ハ悉ク考ヘテ見タ事テ  
 アリマスガ之ハ唯親族計リ寄ツテヤルヘキ會ナラハ其邊ヲ規定シ  
 テ置カヌト往ケヌト思ヒマシタガケレトモ之ハ戶籍吏カ招集スル  
 ノテアリマスカラ先ツ戶籍吏ト云フ者ハ多分市町村長ト爲ルテゴ  
 ザイマセウガ先ツ其土地テハ多少教育モアリ又少ナクモ從來ノ關  
 係ノアルコトハ知ツテ居ル人間テアリマス、シテ見ルト詰リ其人



間ガ寄セテ會議ヲ開カセルノテアリマスカラ其戸籍吏ガ多數決ナ  
 ラハモウ宜シイト云フ位ノコトハ極メルタラウ又極メテ宜シイコ  
 トテアリマス意見カ一人テモ合ハナケレハモウ選定ガ出來ヌト云  
 フコトテアツテハ實際殆ント選定ハ出來マセヌカラ夫レテサウ云  
 フ事ニハ爲ルマイ夫レテ詰リ第二項ノ適用ハ初ノニ申シマシタ通  
 リ二人カ甲ヲ選ヒ二人カ乙ヲ選ンテトチラモ採ルコトカ出來ヌト  
 云フトキニハ戸籍吏ガ一方ヲ選フカ或ハ外ノ者ヲ選フカト云フコ  
 トニ爲ラナイト往ケヌト云フ考テ斯ウ云フ事ニ致シマシタ夫レカ  
 ラ第二ノ點ハ遺隔ノ地ニ居住スル親族ハ招集セヌテ宜シイト云フ  
 テアルカラ其外ノ親族ハ皆招集シナケレハナラヌサウシテ置カヌ  
 ト困ル成程土方君ノ言ハレル如ク隨分遺隔ノ地ニ居ラヌテモ今招  
 ンテモ病氣ヲ死ニ懸カツテ居ル或ハ罪ヲ犯シテ牢ニ墮入ツテ居ル  
 ト云フヤウナ者ソウ云フ者ヲ喚フニ及ハヌト云フコトテゴザイマ

セセウガ夫レテ言フト法律ヲ以テトウ云フ種類ノ者ヲ喚ンテ宜シ  
 イカ唯タ事實上差支ノナイ者ヲ喚ンテ宜シイト云フコトテアルト  
 夫レコソ戸籍吏カ少シ不親切ノ者テアルト僅カナ差支ノアル者ハ  
 直ク喚ハヌト云フコトニスルカモ知レヌ其他法律ヲ知ラヌガ爲メ  
 ニ會議ガ成立タヌト云フト困リマスガ夫レモ矢張り戸籍吏テアリ  
 マスカラ田舎ノ戸籍吏ハ信用ノ置ケヌ者モゴザイマセウガ比較的  
 ニ親族ヨリ戸籍吏ノ方ガ法律モ知ツテ居リ又一寸手紙チ一本ヤル  
 位ノ事ハ出來ヤウカラ手紙チヤツテ來ラレナイ者ハ來ラレヌ丈ケ  
 ノコトテアリマス此會議ニ付テ不參シタ所ガ別段何ンラノ制裁モ  
 ナイ夫レテアリマスカラ病氣テナクテモ外ノ差支テ來ラレナケレ  
 ハ來タ者丈ケテ決議スルヨリ外ナイト思ヒマス第三ノ點ハ或ハ土  
 方君ハマタ先キノ方ヲ能ク讓ンテ下サラヌノカトモ思ヒマスガ  
 土方 寧君 九百五十一條ノ處ニ妙ナコトガアリマス



梅 謙次郎君 妙ナコトノ積リテナカツタノテ九百五十一條ノ所テ  
 恰度御間ノ事ハ總テ規定シタ積リテアリマス其第一項ハ遺隔ノ地  
 ニ居ル者ハ親族會員タルコトヲ辭スルコトカ出來ル第二項ハ後見  
 人、後見監督人及ヒ保佐人ハ親族會員タルコトカ出來ナイ第三項  
 ニハ第九百十二條第三號第五號及ヒ第九百十三條ノ規定ヲ準用ス  
 ルコトニ爲ツテ居リマスカラシテ先刻一寸御話シノアツタヤウナ  
 女ノヤウナ者ハ辭スルコトヲ得ル未成年者ハ會員タルコトヲ得ナ  
 イ其外九百十三條ニハ澤山揚ケテアリマスあの場合ニハ總テ親族  
 會員タルコトヲ得ナイ多分あの御間ヒハ夫レテ足リルト思ヒマス  
 ガ尙ホ足りヌ所ガアレハ尙ホ御質問チ願ヒマス

元田 慶君 高木さん當リニ一ツ案チ御出シ爲ルコトハ願ハレマイ  
 カト云フコトヲ請求願致シマス

議長(笑作麟祥君) 大抵出テ居リマス

元田 慶君 夫レカラ此原案テ戸籍吏ト云フ者ガ前ノ所ニアリマシ  
 タガ是ニハトノ位ノ月給ヲ御出シニ爲ルノテアリマスカ今日ノ戸  
 籍吏ト云フ者ハ村長ノ下ニ附テ書記兼帶テ請ラヌ者テアリマスガ  
 此案テ見ルトえらい者テアリマスガトシナ者テアリマスカ夫レニ  
 依テハ裁判所ト云フヤウナ大キナモノノ代リニ戸籍吏ヲ作ツタト  
 云フコトテアルト法律的ト云フ名ハアツテモ裏面テハ法律的テナ  
 イト云フ恐レカアリマス夫レカラ第二項ノ「前項ノ規定ニ依リテ  
 招集スヘキ親族ナキトキ」ト云フノハ此但書ハ含ムノテアリマス  
 カ若シ含ムト云フコトテアレハ此「招集スルコトヲ要セス」ト云  
 フコトハ私ハ餘リ重モイコトテナイト思ヒマス二百里隔ツタ國ニ  
 岸本君ノ親族カアルノテ戸籍吏カ向フ三軒兩隣リノ者ヲ招集スル  
 ト云フコトハ甚タ不禮當テアルト思ヒマス是ラノ規定ノ必要ノア  
 ル者ハ財産家テアリマス一文モ無イ者ニハ必要ハ無イ其非常ナ財



産家テアリマシタナラハ其家ニ係ヘルコトヲ便利ノ宜シイ今日ニ  
 二百里ヤ三百里位ノ者チ戸籍吏カ喚ハヌテ他人チ喚ンタト云フコ  
 トニ爲ルト法律的ハ假テ大變實際ニ不便カラウト思ヒマスカラ  
 此ニツチ例ヒマス<sup>又</sup>土方君カラ御尋ネニ爲リマシタガ親族ノ應セナ  
 イトキ<sup>ハ</sup>拋棄シタト云フコトハ法文ニ書カヌテモ拋棄ト云フコトハ  
 無論分ルノテアリマスカ「選定スルコト能ハサルトキ」ノミテナ  
 イ差支カアツテ來ナカツタト云フトキハ親族カ來ナカツタラ構ハ  
 ナイト云フコトテ戸籍吏カ勝手ニ選フト云フノテアリマスカラ  
 梅 謙次郎君 第一ノ御問ヒハ戸籍吏ト云フ者ハ戸籍法ヲ極マル積  
 リテアツテこちラテハ何レトモ極ノナイノテアリマスガ乍併私共  
 ノ希望チ申シマスレハ戸籍吏ト云フ者ハ少ナクモ市町村長位ノ者  
 ニシテ實ヒタイト思ヒマス夫レテ此前ニ戸籍法案ト云フモノガ貴  
 族院チ通過シテ衆議院チ一讀會、二讀會チ通過シテ三讀會ノトキ

ニ少数テ潰サレタヤウテアリマスガあの戸籍法案チ見ルト市町村  
 長カ戸籍吏ト爲ルト云フコトニ爲ツテ居ツタヤウテアリマスガ夫  
 レハ宜シイカ悪ルイカ知りマセヌガ何カ其位ノ所テ市町村長ノ又  
 下ニ使ハレテ居ル者カ事實上帳面チ取扱ツテ居ツテモ市町村長ノ  
 命チ奉シテヤルノタカラ其名義ハ市町村長テナケレハナラヌト思  
 ヒマス恰度登記官吏ト同様テアルト心得テ居リマス第二ノ御問ヒ  
 ハ此「前項ノ規定ニ依リテ招集スヘキ親族ナキトキ」ト申ス中ニ  
 ハ無論但書チ含ンテ居リマス即チ戸籍吏ノ知ラサル親族ヤ遠隔ノ  
 地ニ居住スル親族ガアツテモ招集セヌテ宜シイト云フコトニ爲ツ  
 テ居ルカラシテ即チ遠隔ノ地ニ居住シナイ夫レヨリカ近ヒ處ニ居  
 ル親族カ無イトキニハ直チニ戸籍吏カ選ンテモ宜シイノテアリマ  
 ス夫レテ此「要セス」ト云フノハ喚ンテハナラヌト云フコトテハ  
 ナイ喚ハヌテモ宜シイト云フコトテアリマス何セサウ云フ風ニシ



タカト云フト此第一項ハ若シ戸籍吏ガ招集シナケレハナラヌ親族  
 チ招集シナイテ此處ニ關フ所ノ事チヤツタナラハ夫レハ最早法律  
 上效力無イト云フコトニ爲ラキハ往ケナイト思ヒマス夫レニ付テ  
 招集スヘキ人ト云フモノハ事實上何時モ招集ノ出來ル者ニ限ツテ  
 置カヌト往カヌ親族會テモ大變重大ナ事テモナク且其事力永イ間  
 俟ツテ居ルコトカ出來ルモノナラハ益國ノ親族ヲ集ノテモ宜シイ  
 ノテアリマスガ或ハ急ヲ要スルトカ或ハサウ必要ヲ感セヌト云フ  
 ヤウナトキハ懸々遠方ニ居ル者ヲ喚ハヌテモ宜シイサウ云フ場合  
 ハ喚ハヌテモ決シテ不法トハ見ヌソト云フカ爲ノニ此但書ガアル  
 ノテアリマス是カアルカ爲ノニ喚ハヌテモ宜シイ即チ喚ハヌモノ  
 ジヤト云フノテハナイ夫レチ喚ハヌテモ法律上ハ不法トハ見ナイ  
 ト云フコトニ爲ルノテアリマス夫レカラ第三ノ御問ヒハ御尤モテ  
 アリマスカトウモ喚ンテモ來ナケレハ仕方アリマセヌ夫レテモ打

擲ツテ置カナケレハナラヌト云フヤウナコトテハ親族會チ急設ス  
 ルノ必要ノアツタ場合ニハ夫レカ爲ノニ利害關係人ハ大變困ルコ  
 トテアリマスカラ其時ハ戸籍吏自ラ選定シテ宜シイト考ヘマシタ  
 夫レテ即チ御解釋ノ通り親族ヲ喚ンテモ來ナイトキニハ戸籍吏自  
 ラ選定スルト云フコトニ爲ルノテアリマス

高木豐三君 私ハ修正案トシテ一ツ出シマスごたごたシマスカラ全  
 部讀ミマス「本法其他ノ法令ノ規定ニ依リ親族會チ開クヘキ場合  
 ニ於テハ會議ヲ要スル事件ノ本人」即チ「戸籍吏ハ」ノ文字ヲ削  
 ル「戸主、親族、後見人、後見監督人、保佐人、檢事又ハ利害關  
 係人ヨリ本人ノ親族ヲ招集シテ親族會員ヲ選定セシム」但書ハ削  
 除スル第二項ハ「前項ノ規定ニ依リテ招集スヘキ親族ナキトキ及  
 ヒ親族ニ於テ親族會員ヲ選定セサルトキハ裁判所ハ前項ニ掲ケタ  
 ル者ノ請求ニ因リテ選定ス」結リ戸籍吏ハ親族ヲ招集シテ選定サ



セルト云フノテ親族其他誰レテモ一人カラ喚ヒ集メテ選定サセルト云フコトニシテ第二項ニ於テハ親族ノ丸テ無イトキ他人ヲ選ンテ親族會ト云フモノヲ極端エナケレハナラヌ又親族カ親族會員ヲ選定シナイ此場合ニ於テハ我方ガナイカラ斯ウ云フ場合ニハ裁判所テ之ヲ選定スル斯ウ云フコトニシマス恰度梅君カ先キニ御説明ニ爲ツタト同意テ此修正説ヲ提出致シマス其所以ハ梅君カ曰ク此親族會ノ招集ノ必要ノアルトキニハ争ヒノアルトキト云フコトテ如何ニモサウテアリマス吾々ハ動モスレハ訴訟事件ニ關係チシテ居リマスル者テアリマスカラ親族トカ後見人トカ云フヤウナ者ニハ悉ク争ヒノアル者ノヤウニ心得テ居リマス如何ニモ訴訟事件ト爲ツテ來ルモノニハ皆争ヒカアリマス併シ夫レハ全國ノ一般ニ對シテ言ヘハ千分ノ一カ萬分ノ一カテ全國ニ對シテハ誠ニ僅々テアリマス其場合ニ處スル爲メニ設ケル必要ハナイ若シ親族ニ於テ

之ヲ選ハナイトカ或ハ親族ニ於テ不法ヲ働キ不都合ノ事ヲシタトキハ裁判所ニ申出テ不慮ヲ唱フルコトカ出來ルト云フ途カ付テ居レハ親族ニ於テ可成事ヲ纏ノルト云フコトニシタ方カ宜シイテアラウト云フ考テ尙ホ前會カラ今日マテ固執シテ已マヌノテアリマス

議長（笑作麟祥君） 夫レテハ高木君ノ修正案ハ大抵御分カリニナツタラウト思ヒマスガ賛成ガアリマスカ

重岡兼五郎君 賛成

高井政章君 一寸伺ヒマスガ初メニ親族ハトレ丈ケノ者ヲ喚フノテアリマスカ何時モ根本ガ分ラヌ

高木豊三君 夫レハ前會ニモ度々御疑ヒガ出マシタガ此効者ノ親類ハ知ツテ居ルモノト御解シニ爲ルカ知ツテ居ラナイモノト御解シニ爲ルテゴザイマセウカ之ハ前會ニ申シマシタ何親等以上ノ親族



ト云フコトニナラハ無論夫レチ極ノル乍併夫レチ極ノスニ一家ニ  
變動ノアツタトキ一家ノ事ニ對シテハ法律ノ明文ヲ俟タスシテ親  
族ガ知ツテ居ルト思フテ一々規定ハシマセヌ

富井政章君 招集スル者ノ氣ニ容ツタ者丈ケチ招集サヘスレハ宜シ  
イノテアリマスカ

高木豐三君 何時モサウ云フ御問ヒガ出マスガ重大ノ事ニ付テ親族  
チ皆喚フ親族會員チ設ケル必要ノアルトキハ皆喚フ

梅 謙次郎君 誰レカ必要ト思フノテスカ  
高木豐三君 招集スル者カ喚フ總テチ喚フ

梅 謙次郎君 サウスレハ一人テモ缺ケレハ不法ヲ無効テゴザイマ  
セウ

高木豐三君 サウテナイ親族會員ト云フモノニ選定セラレタ者ノ無  
效タ之ハ會員ト爲ルヘキ資格ガ無いモノトスルトキハ裁判所ニ向

ツテ不服チ訴ヘル夫レカ所謂日本ノ慣習テ親族會チ選定スル爲ノ  
ノ協議會ハ決シテ法律チきちきち極ノルニ及ハナイ

梅 謙次郎君 サウスルト法律ノ目カラ見レハ此所ニ喚フ人間ハ自  
分ノ氣ニ容ツタ者計リチ勝手ニ喚ンテモ夫レハ違法テナイノテス  
カ

高木豐三君 サウテス

梅 謙次郎君 一人テモ缺ケルト不法ニ爲ル

重岡憲五郎君 私ハ高木君ノ今ノ修正案ニ賛成チ致シマシタカ或ハ  
高木君ノ御説カ反對者カ多クテ倒レルカモ知レヌト云フ恐レモア  
リマスカラ其時ニハ尙ホ高木君ノ案ノ中チ分離シテ決チ御採リニ  
ナルコトヲ願ツテ置キマス夫レハ第一項ノ但書ノ文面テアリマス  
ガ之ハ諸君ノ中テモ書カヌテモ宜シイト云フコトハ御認メニ爲ツ  
テ居ル方モアラウト思ヒマス夫レカラ第二項ニ於テ戶籍吏ニ選定



權ヲ與ヘテアリマス此選定權ハ矢張り重大テアツテ戶籍吏カ其任  
ヲ盡スニ甚タ覺東ナイト云フコトハ前會ニモ述ヘタコトテアリマ  
スガ或ハ親族ヲ招集スル位ノ權利ナラハマタ些細ナモノテアリマ  
スガ此親族會員ヲ選定スルト云フ重大ノ權ハトウシテモ戶籍吏ニ  
與ヘルコトハ出來ヌト思ヒマス之ハ是非共裁判所官ニ與ヘルカ至  
當ト思ヒマスカラ若シ高木君ノ説カ全部倒レレハ別ニ但書削除並  
ニ二項ノ戶籍吏ヲ裁判所トスルト云フコトノ説ヲ第二ノ説トシテ  
提出致シマス

穂積陳重君 私ハ高木君ノ御修正ノ如クニ爲リマスルト云フト親族  
會ハ開ケナイト云フコトニ爲ラウト思ヒマス色々曖昧ノ御答辯カ  
アリマシタガ結局スル所親族ヲ招集スルト云フト即チ七百三十五  
條ニ極メテアル所ノ六親等内ハ血族、配偶者、三親等内ノ姻族ヲ  
招集シナケレハナラヌサウスルト雖レモ皆集メナケレハナラヌ夫

レテ苟モ法律家テアツテ親族ヲ招集スルト云フト親族皆ヲ集メ  
ケレハナラヌ近邊計リニ親族ガ居ルト云フコトハ餘程少ナイ數百  
里外ニ獨リ二人ハ居ルト云フヤウナ者ハ幾ラモアリマス洋行シテ  
居ル者モアリマス其場合ニ於テ夫レチ悉ク喚ハナケレハナラヌ兎  
ニ角喚ンテ集マル丈ケノ時間ヲ置カナケレハナラヌ兎ニ角開ケヌ  
ト云フヤウナコトカアルノテ親族會ノ規定ト云フモノヲ皆廢スル  
コトニ爲ルカラ夫レハ困ルト思ヒマス

高木三君 之ハ穂積博士ノ駁論トモ思ヘナイ私ハ此親族ヲ招集ス  
ルト云フコトハ是非共悉ク親族ヲ寄セテ而シテ皆ノ頭カ揃ツテ全  
會一致ノモノテナケレハナラヌト云フ程ニ窮窟ニハ思ヒマセヌ唯  
親族カ是々ノ重大ナ事件ニ付テ協議シタイカラ來テ吳レト言フテ  
ヤレハ其招集ニ應セヌテ來ナイ者ハ其權利ヲ拋棄シタ者一面カラ  
言ヘハ義務ヲ盡サヌ者此者ハ他日其選定シタ事ニ向ツテ不服ヲ言



フコトハ出来ヌト云フ結果カ出ルノテアリマス縦令ヒ百里モ二百  
里モ遠方ニ居ル者ハ喚ンテモ来ナイ夫レガ爲メニ親族會カ出来ヌ  
ト云フコトニハ決シテ爲ラヌト思ヒマス

穂積陳重君 サウ云フコトナラハ明カニ「適當ト認メタル者」トカ「  
請求者ガ適當ト認メタル者」ト云フ規定ヲ置カヌト往ケヌト思ヒ  
マスモウ一ツ申シタイノハ親族會ト云フモノハ何レノ爲メニ設ケ  
ルカト云フト一ツハ種々ノ弊害ヲ防ク後見人ニ對スルトカ云フ場  
合ハ別シテアリマス其場合ニ於テ例ヘハ後見人ニ番チサセル爲メ  
ニ親族會カ立入ルコトカアル後見人カ親族會チ招集スルコトカ出  
来マスサウスルト自分ノ仲間丈ケ喚ンタトキテモ何ントモ言フコ  
トハ出来マセヌ若シ高木君ノ御説ノ如クナレハ何時テモ自分ノ氣  
ニ容ツタ者計リチ招集スルト云フコトニ爲ルト弊害ヲ防クト云フ  
働キチセヌヤウニ爲リマス

長谷川 喬君 私カ高木君ニ賛成チスルノハ今穂積君ノ仰セラレタ  
ヤウナ事ハナイト思ヒマス私ノ解釋カ違ウカモ知レマセヌガ縦令  
ヒ後見人カ自分ノ氣ニ容ツタ者計リテ親族會チ招集シタ場合テモ  
其結果トシテ親族會ト云フモノカ成立ツタ以上ハ夫レテ有效テア  
リマス唯タ裁判所ニ往ツテ裁判所テ取消スマテハドンナモノテモ  
宜シイ故ニ裁判所テ取消ス途サヘ與ヘテ置ケハ夫レテ宜シイ成程  
横田君ノ仰セラレタ如キ惡ルイ者モゴザイマセウガ裁判所ヘ出テ  
直オシテ貰ウ途サヘアツタラ宜シイサウ云フ事チ一々裁判所チ煩  
ハスト云フコトハ不都合ト思ヒマス又修正案ニシテモ原案ニシテ  
モアリマスガ「前項ノ規定ニ依ツテ招集スヘキ親族ナキトキ」ト  
云フコトテアリマス此前項ノ規定ニ依ルト云フト何處ニ係ルノテ  
アリマスカ元田君ノ御質問ニ對スル先刻ノ御説明ニ據ルト「前項  
ノ規定」ト云フノハ前項ノ但書モ遣入ルト云フコトテアリマスガ、



但書が導入レハ但書カ主テアルヤウニ見ヘマスカ「前項ノ規定ニ依リテ招集スヘキ親族ナキトキ」ト言フトサウスルト「親族ナキトキ」ト云フノハ寧ロ但書文ケチ含ンタヤウニ見エテ文章ガ少シ讀ミ悪クイノテアリマスガ修正案ニモ出テ居リマスカラ伺ヒマス

梅 隆次郎君 詰リ御解釋ノ通りニ爲ラウト思ヒマス但書タカラト云フテ何モサウ侮ツタモノテナイト思ヒマス用テ爲シテ居ルモノテ表面カラ言フト本文ノ親族テ「招集スヘキ親族」ト云フノハ

—— 其親族ト云フー殘ラスニ爲リマス夫レニ但書ガ加ツテ居リマスカラ夫レテ「招集スヘキ親族」カ但書ノ場合文ケカ殘ツテ居リマス夫レテ本文ト但書ト併セテ始ノテ「招集スヘキ親族」ト云フコトカ分ルノテアリマス

岸本辰雄君 私モ高木君ノ御説ヲ贊成シタイト思ツテ居ルノテアリマスガ所デ穂積君カラ大變心配セラレルカ私ハサウ云フ心配ハ要

ラ又ト思ヒマス即チ高木君ノ趣意カ斯ウ云フ所ニアリマセウカラ唯タ無暗ニ贊成シタイト思フノテナイト云フコトチ一言シテ置キマス高木君ノ趣意ハ詰リ斯ウ云フコトテアラウト思ヒマス親族ノ幅ハ極ツテ居ル故ニ事件ガ起ツタラ親族中ノ誰レテモ何レ世話役ガアルニ相違ナイ夫レカ總テノ親族ヲ招集スル親族會員ヲ選ハナケレハナラヌカラ寄ツテ呉レ其處テ出レル者ハ出テ來ヤウシ出ラレヌ者ハ宜シク御頼ミ申スト云フ者モアラウ又黙ツテ出ナイ者モゴザイマセウ夫レハ權利ヲ拋棄シタ者ニアルカラ夫レハ裁判所テ極ノル又モウ一ツノ異論ハアル者カアルサウ愈ニ親族會ヲ開イテハ遠方テ出ラレナイカラ待テトカ何トカ云フ者モアラウ其時ニハ夫レノ出テ來ルノチ俟ツノカ當然タカ乍併至急ノ場合杯ハ俟テスシテ開クカモ知レヌ其時ニハ迷ニ裁判沙汰ニナラサルヲ得ヌ詰シテ即チ裁判ノ結果正當ノ親族會タルヤ否ヤト云フコトテアリマス



カ裁判沙汰ニ爲ルコトハ極ク稀レナコトテ裁判沙汰ニナラヌテ親族會ト云フモノガ極圓滑ニ立派ニ出來マス是カ出來タ後ハ何レ便宜ヲ圖ツテ夫レハ近接ノ地方ノ者ヲ選フテゴザイマセウカラ夫レテ決シテ不都合ハナイ斯ウ云フ趣意テアラウト思ヒマスカラトウモ高木君ノ御趣意カ極圓滑テ日本ノ是迄ノ慣習ニモ適ヒ又初ノカラサウ理解的ニ干涉的ニスルニ及フマイト思ヒマス

藤原陳重君 來ル時日マテハ待タネハ性キマスマイ

岸本辰雄君 來ルノヲ俟ツノカ當然テアルカ乍併來ルノヲ俟ツコトカ出來ヌカラ夫レテ御異論ハアルマイト云フ通知ヲスル又夫レハ招集ヲセヌテモ宜シイ若シ不服ト云フコトテ裁判所ニ訴ヘレハ夫レテ極マルカラ實際ニ少シモ不都合ハナイト思ヒマスカラ賛成スルノテアリマス

富井政章君 肝腎ノ所カほんやりトシテ居ル規定ヲ置タト云フコト

ハトウモ不都合テアラウト思ヒマスカラ苦毒イヤウテハアリマスガモウ一通伺ヒマス夫レテ満足ガ出來ナカツタラ仕方ナイ招集スル者例ヘハ後見人其招集スル者ガ惡意テ或ル親族シカ招集シナイト云フ場合ハ申シマセヌ夫レテ言フト何時モ惡ルイ者計リテ見テ一方ノ論ヲ立テルト言ハレマスカラ今度ハ惡意テナイ惡意テナイ場合テモ親族ヲ殘ラス招集スルコトハ多クノ場合ニハ出來ヌテアラウト思ヒマス後見人テアラウカ保佐人テアラウカ遠方ニ居ル親族ヲ殘ラス知ルコトハ六ツカシイト思ヒマス夫レテ惡意テナクシテ一人カ二人通知漏レカアル招集狀チヤラヌノカアル其場合ニ親族會テヤツタ事カ不法ニ爲ツテハ困ル、ケレトモサウ云フ場合ハ解釋ハ不法ニナラネハナラヌト思ヒマス、トウシテモ唯タ「親族ト書テハ不法ニナラナケレハナラヌ夫レカ不法ニナラヌト云フ御説ノヤウテアリマスカサウスレハ矢張り斯ウ云フ事ニ爲ツテ來ル



自分ノ氣ニ向イタ者丈ケ喚ンテ宜シイト云フコトニ爲リマス其處ガトウ始末ガ付クカ夫レ丈ケカ分ラヌ

高木豐三君 度々申シマシタガ私ノハ酷トク曖昧ノヤウテアリマスガ私ノ招集ト云フノハ會員ニ選定スルガ爲ノニ寄ツテ呉レト言ヘハ通知スル丈ケテアリマス現在ニ寄ラネハナラヌト云フコトヲ言フノテアリマセヌ(此時梅委員「通知洩レガアツタラトウテス」ト呼フ)通知洩レカアツタラ夫レハ仕方ナイ夫レカ無効ノ原因ト爲ルト云フトキハ裁判所ニ出テ訴ヘル

梅 隆次郎君 夫レカ無効ノ原因ニ爲リマスカ

高木豐三君 私ハ夫レカ種カニ爲ツテ居レハ夫レハ不法テナイ

梅 隆次郎君 故意テモ不法ト爲ラヌノテハナイカ

高木豐三君 夫レハ類リニ出マスガ知ラナイ場合カアリ得ル是ハトウテゴザイマセウカ區裁判所判事トドチラカ能ク知ツテ居ルカナ

ヲブノ一四四

ラハ後見人ノ方ガ私ハ親族ヲ能ク知ツテ居ルト思ヒマス若シ又其後見人カ自分ノ和ヲ圖ルカ爲ノニ自分ノ氣ニ容ツタ者計リテ喚フト云フヤウナコトヲ假想スルナラハ夫レハトウモ裁判官テモ人間テアリマス矢張り自分ノ知ツタ者計リテ喚フト云フコトモアラウト思ヒマス夫レハ悪ルイ事計リテ想ツテ人カ悪ルイ事ナスルト極ノテ仕舞ツタナラハ法律ニ背イタ事モ故意ニヤルサウ云フ事ヲ想像シテ考ヘタラ際限ガナイト思ヒマス

富井政章君 裁判所ナラハ稱ハヌ是丈ケノ者ヲ寄セル裁判所ノ都合テ喚ンテ宜シイト云フ者ハ宜シイ裁判所テハソソナ悪ルイ事ナスルト云フ考ヲ以テヤル場合ハ先ツ無イ夫レテアリマスカラ裁判所ノ方ハ先ツ宜シイノテアリマス

元田 肇君 大變困ツタノテアリマス何レモ大變立派ナ案テハアリマセヌガ此原案ノ「前項ノ規定ニ依リテ招集スヘキ親族ナキトキ、



ハ戶籍吏自ラ親族會員ヲ選定ス一ト云フノハ九百四十九條ノ規定ニ從ツテ選定スルヤウナモノテナイヤウナ起草者ノ御説テアリマシタガ

梅 藤次郎君 サウテナイ九百四十九條ニ依テ選定スルノテアリマス

元田 肇君 サウテスカサウスルト先キノ向フ三軒兩隣リト云フノハ皆當ラヌノデ

梅 藤次郎君 唯タ初ノノ協議會ヲ開カヌモノカアル

元田 肇君 サウスルト「前項ノ規定ニ依リテ」ト云フト但書ヲ加ヘルト何カ事カ曖昧ニ爲リマスガ前項ノ本文、但書以上ヲ含ンデ、、、、、、、、、

穂積陳重君 兩方含ム

元田 肇君 夫レカサウナレハ仕方ナイ

議長（笑作麟祥君） モウ宜シイト思ヒマス決テ採リマセウ念ノ爲ノニ高木君ノ案ヲ朗讀致シマス

（書記朗讀）

第九百四十八條 本法其他ノ法令ノ規定ニ依リテ親族會ヲ開クヘキ場合ニ於テハ會議ヲ要スル事件ノ本人、戸主、親族後見人、後見監督人保佐人、檢事又ハ利害關係人ヨリ本人ノ親族ヲ招集シテ親族會員ヲ選定セシム  
前項ノ規定ニ依リテ招集スヘキ親族ナキトキ及ヒ親族ニ於テ親族會會員ヲ選定セサルトキハ裁判所ハ前項ニ掲ケタル者ノ請求ニ因リテ之ヲ選定ス

議長（笑作麟祥君） 夫レテハ決テ採リマス尙ホ御斷リナシテ置キマスガ重岡君ノ御發議モアリマシタカ只今ハ全體ノ修正テアリマスガ若シ夫レカ否決ニ爲ツタラ但書ヲ削ルトカ第二項ヲドウスル



トカ云フヤウナ説ハ別ニ致シマスカラ豫メ御断リナシテ置キマス  
夫レテハ高木君ノ案ニ賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多数

議長(兼作麟祥君) 多数テアリマス夫レテハ起草委員ニ伺ヒマス  
ガ只今ノ高木君ノ説カ行ハレマシタガ此次モ副高君ヲ議シテ差支  
ヘマセヌカ

梅 謙次郎君 サウテス

土方 寧君 實ハ私ハ前會ニ於テ大體ハ高木君ニ同意テアリマシタ  
ガ今日更ニ提出サレタ事トニハ反對テアリマシタケレトモ通過シ  
マシタガ夫レニ付テ建議シタイノハ修正案ガ立派ニ可決シタノチ  
何ントモ申スノテハアリマセヌガ文章ニ付テハマタ十分ニ可決ニ  
爲ツタモノトハ思ハレヌテ此儘テハ往カヌト思ヒマス夫レテ文章  
ハ尙ホ考ヘテ見ナケレハナラヌコトテアリマスカラ夫レニ付テ尙

ホ文章ヲ唯タ少シ變ヘテ置ク丈ケテナシニ何ントカ少シ位之ニ付  
テ修正ノ意見ヲ述ヘルコトヲ許スト云フコトヲ極メテ置キタイト  
思ヒマス大體ノ趣意ハ極ツタガ、細カイ所ニ付テハ意見ヲ述ヘテ  
モ宜シイト云フコトニ極メテ置キタイト思ヒマス  
議長(兼作麟祥君) 宜シウゴザイマス次ニ移リマス

(書記朗讀)

修正原案

起草委員提出

第九百四十九條 親族會員ハ五人トシ本人ノ最近親族中ヨリ又親  
族中利害ヲ異ニスル者アルトキハ其各種ノ者ヨリ之ヲ選定スル  
コトヲ要ス但正當ノ理由アルトキハ此限リニ在ラス  
親族會中ヨリ五人ノ會員ヲ選定スルコト能ハサルトキハ親族會  
員ハ三人トス

(左ノ修正原案ヲ九百五十條並ニ高木案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ



爲ノ故ニ之ヲ載録ス

第九百五十條 親族カ三人ニ滿タサルトキハ本人ニ縁故アル他人  
ヲ以テ之ヲ補充ス

親族ナキトキハ本人ニ縁故アル他人五人ヲ以テ親族會ヲ組織ス  
此場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

高木委員提出

第九百五十條ヲ第九百四十九條トシ左ノ如ク改ム

親族會ハ三人以上トシ親族ノ協議ヲ以テ之ヲ選定ス但親族ナキ  
トキハ其家又ハ本人ニ縁故アル他人ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得  
親族會員ハ本人ノ最近親族中ヨリ之ヲ選定スルコトヲ要ス但正  
當ノ理由アルトキハ此限ニ在ラス

前二項ノ規定ニ依リテ會員ヲ選定シタルトキ又ハ會員ノ變更ア  
リタルトキハ會員ノ連署ヲ以テ之ヲ戶籍吏ニ届出ツルコトヲ要

ス

五六ノ一四七

梅 隆次郎君 本條ハ人事編ノ第七十一條ニ修正ヲ加ヘタモノテ  
アリマス唯タ人員ガ舊ト「三人以上」トアリマシタノヲ今度ハ「  
五人」ト致シマシタ夫レカラ此利害ヲ異ニスル者ノ中ヨリ選フト  
云フコトニ致シマシタ是カ舊トノニハ無カツタノテアリマス舊ト  
ノニハ唯タ「養子ノ親族會ニハ實家ノ親族モ其會員タルコトヲ得」  
トアリマシタ精神ハ同シコトト思ヒマスガ、ケレトモ是テハ狭マ  
過キルト思ヒマスカラ廣ク致シマシタ但正當ノ理由ノアルトキニ  
ハ必スシモ近親トカ最近親テナクテモ少シ位遠クテモ例ヘハ少シ  
位近親ノ者テモ老衰ヲシテ居ルト云フヤウナ場合ニハ夫レヲ選ハ  
ヌテ却ツテ夫レヨリ一每位遠イ者ヲ選ンテモ宜シイト云フ考ヘテ  
アリマス又人事編ノ百七十一條ノ二項ニハ「本家及ヒ分家ノ戸主  
ハ親族會ニ列スルコトヲ得」トアリマスガ之ノ意味ハ何分判然シ



マセヌガ多分議決權ニテモ持ツテ居ルヤウテアリマスガ本案ニ於テハ後ノ九百五十六條ニ於テ唯タ意見ヲ述ヘル爲メニ出席スルコトヲ得ルト云フコトニ致シマシタ

高木豊三君 復タシテモ修正案ヲ提出シテ相済ミマセヌガ是ニ付テモ私ハ矢張り前會ニ於テ出シテ置キマシタ修正案ヲ提出致シマス其初ノハ「親族會ハ三人以上トシ親族ノ協議ヲ以テ之ヲ選定ス但親族ナキトキハ其家又ハ本人ニ緣故アル他人ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得」第二項ハ「親族會員ハ本人ノ最近親族中ヨリ之ヲ選定スルコトヲ要ス但正當ノ理由アルトキハ此限ニ在ラス」第三項ハ「前二項ノ規定ニ依リテ會員ヲ選定シタルトキ又ハ會員ノ變更アリタルトキハ會員ノ連署ヲ以テ之ヲ戶籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス」斯ウ云フ案テアリマス

議長（箕作麟祥君） 中斷スルヤウテハアリマスガ「左ノ如ク改ム」

トアルあの通りニシタイト云フノテスカ

高木豊三君 サウテス此「五人」ト限ツテアルノチ「三人以上」ト直オシタノハ之ハ矢張り既成法典ノ趣意ヲ採ツテ改メマシタノテアリマスガ成程親族會員ト云フモノハ三人テハ少ナイ五人ト極メテ五人以上ハ却テ多キニ失スル五人ト極メルト云フコトハ如何ニモ法律的カモ知レマセヌ乍併能々實際ノ事ヲ御考テ願ヒタイノハ随分親族ト云ツテモ悉ク五人ノ親族カアルト云フモノテモナシ又其幼者トカ何ントカ云フ者ニ極最近ノ親族ガアレハ十分デアリマス言葉ヲ換ヘテ言ヘハ五人ノ親族ヲ選フト云フコトハ中々難イコトカアルト思ヒマス其難イトキニハ他人ヲ選フテゴザイマセウガ讀ンテ字ノ如ク他人ガ親族會員ト爲ツテ親族ニ代ツテ幼者ノ事ニ付テ議スルト云フコトハ好マシカラヌト思ヒマス可成親族計リテ成立チ得ヘキヤウニシテ置ク方ガ宜シイト思ヒマス又他ノ一面カ、



ラ言へハ彼三井トカ何ントカ云フヤウナ大家ニアツテハ之ヲ五人  
ト限ルノモ或ハ不便ヲ感スルコトガ實際アリハシナイカト云フ懸  
念ガアリマス夫レテ斯ウ云フヤウニ「三人以上」トシテ所謂親族  
ノ協議テ五人ガ七人ニ爲ラウトモ十人ニ爲ラウトモ法律ハ差支ナ  
イト云フコトニシテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス夫レカラ但書  
ニ「其家」ト云フコトヲ加ヘマシタガ之ハ餘程奇ノヤウニ御考ニ  
爲ルカモ知レマセヌガ第一親族カナイ親族カ無イトキニハ無論本  
統ノ親族會ト云フモノハ出來ヌノテアリマスガ乍併日本ノ習慣ナ  
リ日本ノ有様ト云フモノハ御承知ノ通り家ト云フ特別ナモノカア  
ツテ例ヘハ現在ノ幼者若クハ其他ノ者ニハ血族ノ關係ハ無クテモ  
あの家トハ三代以前ニ縁組ヲシテ居ツテ家ト家トハ誠ニ親密ニシ  
テ居ル例ヘハ華族テ言ヘハ同族トカ宗族トカ云フ關係テ却テ親族  
ヨリ親シイ却テ其家ノ爲メヲ思フ者カ往々アル既ニ親族カ無クテ

他人ヲ選フヤウナ場合ナラハ却ツテ其家ニ縁故ノアル者ヲ選フカ  
宜シイト云フノテ「其家」ト云フコトヲ加ヘタノテアリマス夫レ  
カラ二項テアリマスガ原案テハ「利害ヲ異ニスル者」ト云フノガ  
既成法典ヲ改メタ點ト云フ御説明テアリマシタガ之ハ私ハ却テ宜  
シクナイト云フ考ヘテアリマス何セナレハ是モ矢張り親族中ニ即  
チ争ヒノアルコトヲ假定シテ辨ヘタヤウテアリマス先ツ親族カ熟  
議シテ何モ非難ノ無イ場合私ノ説テ通過シタ修正案ニ依レハ親族  
カ互ニ寄ツテあの人カ宜シイ此人カ宜シイト言ツテ其場合ニ利害  
ヲ異ニシテ居ル既ニ争ヒノアルト云フコトハ前提シテ規定シタ法  
律トシカ見ヘマセヌ又トウ云フ者カ利害ノ關係カアルカト云ヘハ  
是迄ノ實際ヲ言ヘハ父方ノ親族ヲ選ンテ母方ノ親族ヲ選ハヌトカ  
何ントカ云フコトテアラウト思ヒマス乍併之ハ愈々實際ハ利害ノ  
關係ヲ異ニシテ母方ノ者ヲ選ハヌト幼者ノ不利益ヲ圖ルト云フヤ



ウナ場合ニハ即チ原案ノ但書テ足リルノテアル「正當ノ理由アル  
 トキハ此限ニ在ラス」ト云フコトテ之ハ到底親族會員ニシテハ爲  
 ラヌト云フコトガ見エテ居リマス故ニ私ハ最初カラ親族ノ間ニ争  
 ヒカアリ異議ノアルト云フコトヲ法文ニ出サヌテ既成法典ノ如ク  
 シテ置イタ方ガ宜シイト思ヒマス次ニ第三項ヲ加ヘマシタ之ハ親  
 族會員ト云フモノヲ選定シテサウシテ是々ノ者ヲ選定シテ親族會  
 カ成立ツタト云フコトヲ戶籍吏ニ届ケ出ル夫レハ何ソノ爲ノカナ  
 ラハ是迄モ出マシタ通り親族會ハ矢張り後見人ト並ンテ法律行爲  
 ニ關係ノアル一ツノ法律上ノ制度テアルカラ何時成立ツタカト云  
 フコトヲ極メテ置クノハ最モ必要テアリマス之ハ是迄ノ實見ニ依  
 ルト訴訟ニ爲ツテカラ親族ノ決議ヲシタト云フヤウナ訴訟願力續  
 ヲ出マス、ケレトモ之ハ訴訟行爲カアツテ始メテ現ハレタ親族會  
 カ果シテ其通りカトウカト云フコトハ甚タ見分ケ難イ其後ニ斯ウ

云フモノヲ作ツタノテアル其時ノ協議ニハ吾々加ハラヌテアルト  
 云フヤウナコトカ澤山アリマス其場合ニ於テ果シテ正當ニ成立ツ  
 タモノカトウカト云フコトヲ判定スルノニ大キニ苦ミマス、テ前  
 ノ如ク裁判所テ選定スルト云フコトテアレハ無論是ハ誰某テアツ  
 テ何月何日ニ選定ヲシタト云フコトカはつきり致シマスガ乍併修  
 正案ノ結果トシテ何時成立ツト云フコトヲ憶ノルト云フコトハ必  
 要ト考ヘマスカラ矢張り之ヲ戶籍吏ニ届ケ出ルコトヲ要スルト云  
 フコトニ修正シテ置キマセシタ

梅 藤次郎君 私ハ高木君ノ案ニ付テハマタ賛成ガアリマセヌカラ  
 述ヘマセヌガ唯タ説明カ足りナカツタカラ申シマスガ私ハ五人ト  
 云フコトノミヲ説明シテ三人ノ方ハ申サヌテアリマシタガ夫レカ  
 ラシテ説明ヲ來サレタカモ知レマセヌガ高木君ハ五人ニシテハ困  
 ルト云フコトテアリマスカ夫レハ初メノ案ニハナカツタノテアリ



マスガ今日ノ修正案テハ若シ親族ガ五人ナイトキハ三人トスル他人ヲ入レルト云フトキハ何時モ三人集ノルコトノ出来ヌトキト云フコトニナリマス之ハ高木君ノ案ノ精神ト餘程類似シテ居リマスカ今度サウ云フコトニ改メマシタカラ今日ノ案ヲ御覽ニナツタナラハ舊トノ通りニ爲ツテ居ラヌト云フコトハ御分リニ爲ラウト思ヒマス

磯部四郎君 高木君ニ一寸今相談テアリマスガあなたノ案テ二項ノ「正當ノ理由アルトキハ此限ニ在ラス」ト云フノハ此各種ノ者ヨリ選定スルコトヲ得ルト云フ此「利害ヲ異ニスル者」ト云フコトヲ削ツテ仕舞ウト云フコトハ之ハ削ツテ宜シイカモ知レマセヌガ原則トシテハ「親族中利害ヲ異ニスル者アルトキハ其各種ノ者ヨリ之ヲ選定スルコトヲ要ス」ト云フコトヲ原則トシテ保存スル事ニハ往カヌノテアリマスガサウシマセヌト「正當ノ理由」ト云フ

事柄ハ私ノ考ニスルト随分漢トシタコトテ原則ハトウモ斯ウ立ツテ居ル方ガ如何ニモ母方カラ二人出レハ父方カラ二人出ルト云フノハ公平ヲ得ルト思ヒマスガ尤モ此中テ悪ルイ者トカ何ントカ云フ者カアルト始メテ「正當ノ理由」ト云フコトヲ除テ仕舞ウノテアリマスガ唯々あなたノ修正案ノヤウニスルト何ンテモ「正當ノ理由」ト云フコトカ付ケラレハシナイカト思ヒマス私ハ深ク研究モ致シマセヌガ私ハ起草者ノ御提出ニ爲ツタ親族中利害ヲ異ニシタ者カアツタトキニハ其各種ノ者ヨリ之ヲ選定スルト云フ原則ハ維持シテアツテ宜シイト思ヒマス夫レカラ今一ツ御尋ネテ置キタイノハ「五人」カ「三人」ト爲ツテ居ルノテアリマス例ヘハ「三人以上」トスルト五人テモ十人テモ宜シイト云フコトニ爲リマスサウスルト、、、、、

高木豊三君 夫レハ細則ハ出来ル積リテアリマス誰レカ會長ト云フ



コトカ出來ルノテアリマス

磯部四郎君 夫レニシテモ規則カ何カ無イト往ケヌノテアリマセウ

高木豊三君 夫レニシテモ過半数ト云フコトテ極マルテゴザイマセ

ウ

磯部四郎君 サウスルト差當リ此處ノ「各種ノ者ヨリ之ヲ選定スル

」ト云フコトハトウ云フ事テゴザイマセウカト云フコトヲ伺ヒマ

ス

高木豊三君 先ツ梅君ニ伺ヒマスガ私ハ強テ申スノテアリマセヌガ

毎第一利害ヲ異ニスル場合ト云フノハトウ云フ場合テゴザイマセ

ウカ幼者ガ出來タ成ハ氣違ヒニ爲ツタト云フ場合ニ父方トカ母方

トカサウ利害ヲ異ニスルト云フヤウナ場合ヲ法律ヲ豫想シテ置カ

ナケレハナラヌト云フ場合ハトウ云フ場合テゴザイマセウカ

梅 隆次郎君 サウ云フ場合ハ立案者ノ考テハ只今高木君ノ言ハレ

タ父方、或ハ實家、養家ト云フモノヲ意味スル積リテアリマス父方

母方ト云フモノハ外國ノ法律ヲハ父方カラ二人出セハ母方カラモ

是非二人出サナケレハナラヌ若シ二人ナケレハ外カラ出サナケレ

ハナラヌト云フ窮屈ナ法律ニナツテ居リマスカ本案テハサウハ窮

屈ニセヌテアリマシタ夫レテ單ニ利害ヲ異ニスルト書イタノハ或

ハ漠然タル嫌ヒナキニシモアラステアリマスガ意味ハ其積リテア

リマス或ハ其方ガ實際都合ガ宜シイト思ヒマス從來ノ例、指令ヲ

見ルト「父方、母方ニ協議スヘシ」ト云フコトカアリマスガ大ニ

其邊ヲ考ヘタノテアリマス

高木豊三君 私モ一寸磯部君ニ御答ヘ致シマスガ私モ多分サウ云フ

御趣意テアラウトハ思ツテ居ツタノテスガ必要ガナイト致シマシ

タ其譯ハ親族會ガ離婚トカ或ハ離婚トカ云フヤウナ事ヲ

議スル場合ナラハ或ハ夫レニ父方カ加ツテハ往カヌヲト云フヤ



ウナ必要モ出テ來ヤウト思ヒマスケレトモ幼者カ出來タ或ハ瘋癲  
ニ爲ツタト云フヤウナ場合ニ最初カラ利害ヲ異ニスルト云フコト  
カトウモ私ニハ分ラヌ等シク親族テアツテ見レハ皆幼者タル無能  
力者ノ爲ノチ圖ルト云フコトヲ法律ガ想像スルノテアルトウモ離  
縁、離婚ヲ協議スルノナラハ格別テアリマスガ教育ノ事トカ或ハ  
財産管理ノ事杯ニ付テ法律ガ最初カラ利害ヲ異ニスルト云フコト  
ニ豫想シテ居ルノハ私ハ甚タ分ラヌ事ト思ヒマスカラ夫レテ事口  
私ハ之ハ無イ方カ宜シイト思ヒマス

土方 寧君 私ハ高木君ノ修正ノ中ノ「三人以上」ト云フコトニシ  
テ置クノハ大變贊成テアリマスガ夫レニシテモ舊トノ原案ノ起草  
者カラ出サレタ中ノ「利害ヲ異ニスル」云々ト云フノハ矢張りア  
ツタ方ガ宜シイト思ヒマス夫レテ之ヲ入レテ尙ホ舊トノ原案ニモ  
モニヒアツタノチ高木君ノ案ニハ洩レテ居ルカラ夫レヲ入レ

レハ贊成シタイト思ヒマス「三人以上」トスルノハ宜シイ少クモ三  
人ハナケレハナラヌ三人以上ト云フモノハ大家ナラハ多勢選ブノ  
ハ宜シイカ所カ三人ナイ二人シカナイトキハ固ヨリ本人ニハ縁故ア  
ル者ノ他人カラ選ンテ補足スル夫レモ宜シイ其場合ハ宜シイカ其  
外一人モ總親族カナイトキハ他人ヲ選ブカ宜シイカ其時ハ三人以  
上トセヌテ三人トさちんト極メテ仕舞ウ唯タ夫レハ別ニ斯ウタト  
極メテ置キタイ其時ハさちんト極メテ仕舞ヒタイ舊トノ原案テハ  
始末カ付テ居ル補足スル場合ト他人チスル場合ト違ウト思ヒマス  
夫レカ文章ニ加ヘルト云フコトナラハ私ハ贊成致シマス

高木 豐三君 極贊成テアリマス

穂積 陳重君 高木君ハ初メカラ利害ヲ異ニスル者ハ無イト云フコト  
テアリマスガ相續人ヲ定メルト云フトキニハ窮極スル所ハ親族會  
テ定ネハナラヌト云フコトガゴザイマス其時ニ三人兄弟ガアル其



場合ニ初メカラ或ル親族ト云フモノハ兄ノ方ノ大抵繼承キガ多イ他  
ノ親族ハ弟ノ方ノ繼承キカ多イト云フ場合モ出テ來ハシマスマイカ  
高木豊三君 夫レハ相續編ノ起草委員タル穂積君ニ伺ヒタイカ私ハ  
法律ノ規則テ極マルノテ親族カ寄ツテ銘々自分ノ好キナ者ヲ選フ  
ト云フヤウナ事ハ出ナイト思ヒマスガサウ云フ場合ガ出ルノテア  
リマスカ

穂積陳重君 夫レハ本會ノ諸君ノ御決議通りテアリマスガ既成法テ  
モ仕舞ノ方ハトウシテモ親族會ガ極ノネハナラヌト云フコトカ出  
テ來ルト思ヒマスガ夫レテ法律テ何處マテモ極ノルト云フコトカ  
出來レハ宜シイカ只今ノ現行法<sup>ニ於</sup>テモ親族カ相續ノ上テ相續人ヲ選  
フト云フ場合ガ幾ラモアリマス夫レハ未定ノ事テアリマスカラ夫  
レハ大多數テ以テ法律ヲ以テ順序ヲ極ノテ仕舞ツテ選定スルト云  
フ事ハ無クスルト云フコトナラハ夫レハ兎ニ角既成法典ニモアリ

マス幾ラモ

磯部四郎君 高木君ノ修正案ニハ贊成カアリマシタ

議長(笑作麟祥君) 何ンタカ今土方君カ改メレハ贊成シヤウト云

フコトテアリマシタカ單純ノ贊成ハナイヤウテアリマス高木君モ  
夫レナラハ改メテモ宜シイト云フヤウテアリマシタ

高木豊三君 他人ノトキハ三人ト極ノルコトハ宜シイト思ヒマス

磯部四郎君 夫レナラハ一言シタイト思ヒマス高木君ノハ如何ニモ

此親族主義テ一寸法文カラ見ルト極便利ノヤウテアリマスガ「三  
人以上」トシテ三人以上十人以上ニ爲ルコトモアルト云フヤウナ  
コトテ大變宜シイヤウテハアリマスガ實際ニ爲ルト此原案ノ方ガ  
宜シイト思ヒマス其譯ハ五人トスルノハ餘程窮屈ノヤウテハアリ  
マスガ兎ニ角法律テ斯ウ爲ツテ居ルト必ス此五人ノ人カ最近親族  
中カラ出ルコトニ爲ラヌト思ヒマス是ハ其定員ヲ限ツテ置カヌト



結局ノ所ハ唯タ親族ト云フ縁ノアル人カ皆會員ニ連ナルト云フト  
體分親族ガ一體ニ篤實ノ人計リナラハ宜シイカ色々其處ニ非難カ  
立ツタリ何カスルサウシテ誠ニ人ノ多イ爲ノニ船頭多クシテ船山  
ニ登ルト云フヤウナコトニ爲ツテ肝腎ノ幼者カ親族會員ノ多イカ  
爲ノニ屢々妨ケテ受ケルヤウナ事カアラウト思ヒマス、テ此方ハ  
法律テ五人ト限ツテ置ク大家杯ハ之ヲ五人トシテ置クノハ窮屈ノ  
ヤウニハ見エマスガ畢竟斯ウ爲ツテ居ルト最近ノ者カラ出テサウ  
シテ利害チ異ニスル者カアレハ各種ノ者カラ選フト云フコトテア  
リマスカラ或ハ二等親ト三等親ト組合ハスト云フコトガアルカモ  
知レマセヌ兎ニ角何レニ爲ツテモ斯ウ爲ツテ居レハ兩方カラ出テ  
且決定スル事柄ハ五人テアリマスカラトウシテモ一人ノ多數ト云  
フモノカ出テ來マスカラ事ノ運ヒノ點ニ於テモ却テ此方ガ便利テ  
アラウト思ヒマス夫レテ賛成者カ無イ時分ニハ言フコトガ出來マ

セヌガ賛成者カアルト云フコトテアリマスカラ私ハ此原案ノ方ガ  
宜カラウト思ヒマスカラ其事丈ケ一言シテ置キマス

横田國臣君 私ハ案ハ却ツテ高木君ノチ直オシタ方カ幾分カ簡單テ

宜カラウト思ヒマス一寸此「各種ノ者ヨリ之ヲ選定スルコトヲ要  
ス」ト言フテ之ハ選定ノ心得ノ事ヲ言フタノテアリマスガ是カ能  
ク頭マニ落チマセヌ例ヘハ子供ガ三人アツテ夫レノ黨派カ甲、乙、  
丙夫レノ三人ノ者ヲ選定ナシタ、甲、乙、丙サウスルト各々主張シ  
テ乙カ甲、甲ガ丙、サウスルトさうさう出來ヌヤウナコトガ出來  
ハシナイカト思ヒマス夫レテ之ハ誠ニ公平ニ私ノナイト云フヤウ  
ナ唯タ選フト付テ私ノナイト云フヤウニト云フノハ宜シイヤウテ  
アリマスガトウモ親族會ヲ屢々招集シタ效能ヲ夫レテ薄ライテ仕  
舞ウヤウナ譯テアリマス矢張り皆テ選定シタ方カ宜カリサウテア  
リマス少シ之ハ心得ノヤウナ事テアリマスお前達ハ不公平ナ事チ



シテハ往カヌト云フト平生保守主義ノ者ハ保守主義ノ方チシヤウ  
新タナ生意氣ナ先生ハ生意氣ナ先生ニシヤウト云フコトニ爲ルト  
ウモ是レハ夫レ丈ケ必要トハ思ヒマセヌ又五人トスルト云フコト  
ハ通常多ウ過キルサウスルト三人以上ノ方ニ爲ルカサウスルト私  
ハ多イ方ハ構ハヌト思ヒマス

尾崎三良君 私ハ久シク缺席チシマシタガ高木君ノ修正説ニ賛成チ  
致シマス其賛成ノ譯チ一寸述ヘマス段々諸君ノ御説モアリマシタ  
ガ此親族會杯ト云フモノハ餘リ強テ窮屈ニセナイ方カ宜シイト思  
ヒマス法律的々々々ト云フ御説モアリマスガ成程已ムチ得ヌ場合  
ニハ仕方アリマセヌカサウ窮屈ニセヌ方カ人情ニ通ヒ又實際上チ  
宜シイト思ヒマス矢張り「三人以上」トシテ其上ハ何人ニ爲ラウ  
カ夫レハ矢張り其人ノ貧富事情ニ依ツテ定メルカ宜カラウト思ヒ  
マス成程餘リ人数カ多ケレハ船山ニ登ルト云フヤウナ案シモゴザ

イマセウガサウ自分ノ事テナイノニ無關ニ言フ者モナイ夫レカト  
言ツテ五人ト限ツテ仕舞ウト三井トカ高田ノ本間トカ云フヤウナ  
大家ニ爲ルト末家杯カラ集ツテ相續スルト云フヤウニ爲ツテ居リ  
マスカラサウ云フ者ハ五人所ロテハナイ八人ニモ十人ニモ爲ルテ  
アラウト思ヒマス、所カ此法律カ出ルト夫レハ五人以上ハ出来ヌ  
ト云フコトニ爲ツテ甚タ困ルト思ヒマスカラ矢張り「三人以上」  
トシテ其上ハ五人テモ八人テモ宜シイト云フヤウニばつツトシテ置  
タ方ガ宜シイト思ヒマス夫レカラ先刻どなたカラカ御協議カアツ  
テ親族カ無イ他人ナラハ仕方カナイカラ其場合ハ三人ト極メテ宜  
シイト云フコトテアリマシタガ夫レハ一應御尤モテアリマスガ隨  
分會杯ニ爲ルト親族ト云フモノテナクテ親族ヨリモ親密ノ關係  
ノアル者ガ幾ラモアリマスカラ是モ矢張りサウ限ラヌ方カ轉クハ  
アリマスマイカ又必要ノ無イノニ親類テモナイ者チ無理ニ引張ツ



テ來ル者モナカラウト思ヒマス夫故ニ私ハ高木君ノ案ニ賛成致シ  
マス或ハ文章上ニ付テハ斯ウ云フ風ニスルカ宜シイト云フ御修正  
カアレハ賛成スルカモ知レマセヌガ先ツ大體丈ケハ高木君ノ案ニ  
賛成テアリマス

議長(笑作麟祥君) 高木君ニ伺ヒマスガトウ爲リマスカ紫版ノ通  
リニ爲リマスカ

高木君三君 「親族ノ協議ヲ以テ之ヲ選定ス」丈ケカ抜ケマス

議長(笑作麟祥君) 「親族ナキトキ」トスルト親族ガ一人テモア  
ツタトキハトウテアリマスカ

高木君三君 全部ナイトキモアラウシ一人ナイトキモアラウ其時ハ  
補フ

議長(笑作麟祥君) 夫レテハ「親族ナキトキハ」テ宜シイノテス  
カ

高木君三君 サウテス

議長(笑作麟祥君) 利害ノ關係云々ノコトハ入レヌノテスカ

高木君三君 サウテス

磯部四郎君 成程五人テモ十人テモ十五人テモ宜シイト云フ御説テ  
アリマスガ私ハ奇ナ説ヲ吐クヤウテアリマスガ考ヘテ見ルト五人  
テ十分ト云フ考テアリマス夫レハ奇ナヤウテアリマスガ今日ノ裁  
判所構成法ニ依ツテモ天下ノ大事ヲ議スルトキニハ即チ五人テア  
ツテ此五人テ總テノ仕事ヲ判断スルコトカ出來ルトちやんと法律  
ヲ極ノテアリマス況ンヤ一家内ノ事ヲ大概ノ人カ五人モ集ツテ相  
談ナスレハ夫レテ大概纏マルト云フ考テアリマスカラ夫レテ五人  
テ宜シイト云フ考ヘテアリマス夫レカラ多クアルト云フコトニナ  
ルト一ツ差障リノアルト云フノハトウシテモ責任ガ分レテ仕舞ツ  
テ會議ヲ起ス節ニ誠ニ少ナイ人ガ寄ルヤウニナリマス事實會員ニ



爲ツテ居ツテ責任ヲ負フ者カ僅カテ其僅カナ人ガ寄ツテ議決シタ  
事カ無効カ有效カト云フヤウナ親族會ノ組織ノ事ニ付テ色々ナ困  
難カ起ルト思ヒマス夫レヨリカ五人トカ七人トカ極ツテ居レハ責  
任カ重モイシ殊ニ最モ親密ノ關係ヲ持ツテ居ル者カ會員ト爲ルノ  
テアリマスカラ大キニ便利テアラウト思ヒマス夫レカラ一旦會員  
ヲ限リマセヌト——法律テ極マラヌト大抵ノ親族ハ入レテ  
置カヌト大變又親族ノ交際上ニ不利益カ生シヤウト思ヒマスカラ  
夫レテ是ラノ事ハ思ヒ切ツテ法律テ其定員ヲ限ツテ置ク方ガ宜シ  
イト思ヒマス夫レテ愈々少ケナイテ往ケヌト云フコトナラハ即チ  
五人カ七人ニ爲ルノハ宜シイガ乍去定員ヲ限ラヌト不得策テアラ  
ウト思ヒマス隨分家カ轉ク爲リ大キク爲ツテ來ルト私ハ徒弟デゴ  
ザル杯ト言ツテ來ル是モ會員ニ列ナルあれモ會員ニ列ナルト云  
フコトニナルサウスルト若シサウ云フ者チ省クト至ツテ面倒ニ爲ル

ト云フヤウナコトモアラウト思ヒマス兎ニ角立法上ハ五人カ七人  
テモ宜シイカ定員丈ケハ限ルト云フコトニシタイト思ヒマス  
議長(笑作麟祥君) 夫レテハ高木さん兩方説カアルヤウテスガあ  
なたノ方テハ利害關係ヲ入レヌト云フ方テ決チ採ツテ見マセウ  
高木君三君 夫レテ宜シイノテス尙ホ但書ヲ斯ウ變ヘルト云フ注文  
モアリマスカラ出シテ見タイト思ヒマス「親族ナキトキハ」チ削  
ツテ「但親族三人ニ滿タサルトキハ其家又ハ」云々  
土方 寧君 實ハ文章ハ少シ高木君ノ修正案ニモウ少シ附ケ加ヘル  
ト云フヤウナコトニ爲ルト宜シイト思ヒマスガ文章ハ出來マセヌガ  
サウ云フノハ起草委員ニ頼ミタイト思ヒマスガ今ノ別ノ項チ附ケ  
ルト云フヤウナコトハ承諾ガナイト仕方アリマセヌカラ何ントカ  
一ツ纏ノナイト困リマス私ハ今文章ハ出來ヌケレトモ高木君ノ案  
ニ利害關係人ノコトヲ別ニスル夫レチ高木君ノ案ニ全然賛成スル



コトハ困リマス

高木豊三君 一項宛決チ願ヒマス

元田 肇君 夫レテハ高木サンノ案ノ「親族ナキトキハ」ト云フコトハドウモ難カテナイト思ヒマスカラ寧ロ原案ノ「五人トシ」ト云フノチ「三人以上トシ」ト云フコトニシテ二項ヲ削リ夫レカラ九百五十條ノ「本人ニ縁故アル」ト云フ上ニ「其家又ハ」ト云フノチ加ヘ夫レカラ高木サンノ案ノ一番終リノ戸籍吏ニ届出ツルト云フ項ヲ入レルト云フコトニシテハトウデゴザイマセウカ強テハ主張シマセヌ

議長（笑作麟祥君） 元田サンニ問ヒマスガ起草委員カラ提出サレタ「五人」ト云フノチ「三人以上」トスルノテスカ

元田 肇君 サウテスサウシテ二項ヲ削リ九百五十條ヲ別條ニシテモトウテモ宜シイカ「本人ニ縁故アル」ト云フ上ニ「其家又ハ」

チ入レ又高木サンノ案ノ三項ヲ入レル

重岡黨五郎君 賛成シマス

議長（笑作麟祥君） モウ決チ採リマセウ何ンタカ高木君ノ案カ一番原案ニ遠イト思ヒマスカラあの方カラ決チ取ラウト思ヒマス夫レテ一項宛ト云フコトテアリマス一項ハ「親族會員ハ三人以上トス但親族三人ニ滿タサルトキハ其家又ハ」云々ト爲ルノテスカ  
高木豊三君 サウテス

磯部四郎君 「親族三人ニ滿タサルトキ」ト云フトキハ其親族ハトノ親族ヲ指スノテスカ夫レハ遠隔ノ地ニ居ル者テモ是非喚ハナケレハナラヌト云フコトテゴザイマセウカ

富井政章君 夫レハ初ノカラ漠然テアル

高木豊三君 嫌ヤナラハ來ヌテ宜シイ

土方 寧君 私ハ一寸建議ヲ致シマス此處テ幾ツモ分ケテ決チ採ル



ト込入ツテ居リマスカラ間違ウト思ヒマス夫レテ、起草委員カラ  
提出ニ爲リマシタル九百四十九條ト九百五十條トニ對シテ文章ニ  
付テハ今日話シ合ツタ上テ色々話カ出マシタカラ此大マテ延ハシ  
テ其時ニ高木君カラ案ヲ御出シニ爲ツテハトウテセウカ

議長（笑作麟祥君） 随分討論ガ出マシタガ

土方 率君 トチラチ本トニスルノテスカ

議長（笑作麟祥君） 高木君ノチ本トニスル夫レチ高木君ノハ「親  
族會員ハ三人以上トス但親族三人ニ滿タサルトキハ其家人ハ本人  
ニ緣故アル他人チ以テ之ヲ補充スヘシ」「得」テスカ「ベシ」テ  
スカ高木君三君 「補充ス」ニ願ヒマス

議長（笑作麟祥君） 夫レテハ高木君ノ案ノ九百五十條ノ一項ニ贊  
成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

議長（笑作麟祥君） 多數テアリマス第二項ハ土方君カラ段々御注  
文ガアリマシタガ之ハ一方ノ利害關係云々カ道入ツテ居ルノテア  
リマスガ高木君ノハ道入ツテ居リマセヌ夫レテ高木君ノ九百五十  
條第二項ニ贊成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

議長（笑作麟祥君） 少數テアリマス

重岡黨五郎君 利害關係ヲ入レルト云フコトノ決ヲ採ツテ載キタイ

議長（笑作麟祥君） 夫レチ入レルト云フコトモ起草委員提出ノ通  
リテナイカラ別ニ案カ出ナイト性クマセヌ

梅 隆次郎君 原案ノ通りテ「五人トシ」ヲ取レハ宜シイ

議長（笑作麟祥君） 夫レテハ「五人トシ」カナクテ附ハ皆起草委員  
提出ノ一項ノ通りニ爲ルト云フコトニ贊成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數



議長（笑作麟祥君） 少數

本野一郎君 今ノハ分ラヌ

議長（笑作麟祥君） 夫レテハ改メテ出シマスガ「五人トシ」云々ト云フノカ原案テアリマストウシテモ夫レヨリカ別ノモノガ出スト性ケヌト思ヒマス

磯部四郎君 兎ニ角九百四十九條ハ削除ニ爲ツテ居ルカトウカト云フコトハマダ議決ニ爲ツテ居リマセヌネ九百四十九條カ削除ニ爲ツテ居ルト今ノ二項ハ無ク爲ツテ居ル

高木豊三君 之ハ甚ダ恐入リマスガ今ノハ吾々ノ誤解ガアルカモ知レマセヌガ特別ノ御詮議ヲ以テ今一應御採決ヲ願ヒマス

議長（笑作麟祥君） 私ハ餘程御斷リシタ積リテアリマス

高木豊三君 サウテモゴザイマセウカ「五人トシ」ト云フコトガ通ラヌテアリマシタカラ是カ通レハ原案ニ爲ルト云フ御考ヲ御立チ

ニナラヌ方ヘアツタラウト思ヒマスガ之ハ是非共必要ト思ヒマスカラ若シ是カ修正案トシテ出スノガ必要ト云フコトテ起草委員カラ御出シニ爲ラヌコトナラハ私カラ出シテモ宜シイト思ヒマス  
議長（笑作麟祥君） 間違ツタト云フコトテ御請求ガアレハ決チ採リマスガ私ハ間違イテナイト思ヒマス是非誤解シタト云フコトナラハモウ一遍決チ採リマセウ

横田國臣君 三項ハ「前二項ノ規定ニ依リテ」ト云フコトハトウテスカ

議長（笑作麟祥君） 高木君ノ第三項ハ「前二項」ト云フノハ要ラナク爲ツタノテスカラサウスルト「前項」ト爲ルノテスカ

高木豊三君 「會員ヲ選定シタルトキ」ト爲リマス

議長（笑作麟祥君） 「會員ヲ選定シタルトキ」ト性ギナワ爲ルノテアリマスカ



高木豊三君 サウテス之ハ一寸餘計ナ事デアリマスガ後トカラ來ラレタ方モアリマスカラ申シマスガ原案テハ戸籍吏カ招集シテ選定サセルト云フコトニ爲ツテ居リマシタカラ別ニ届ケハナクテモ戸籍吏テ分ツテ居ルコトデアリマスガ今度ハ夫レカ親族ノ協議テヤルコトニ爲リマシタカラ何時何人出來タトカ變更シタトカ云フコトノ届ケハ必要テ是レコソ法律的テヤルカラ之ハ起草委員モ御同意ニ爲リサウニ思ヒマス

議長(笑作麟祥君) 高木君ノ案ノ三項ハ「前二項ノ規定ニ依リテト云フコトヲ削ツテ往キナリ」「會員ヲ」トシタ方カ宜シイノテスカ

末松謙澄君 「親族會員ヲ選定シタルトキ」ニハトウテス

高木豊三君 サウシマセウサウシテ「會員ヲ選定シタルトキ又ハ」ノ下ノ「會員ノ」ト云フノヲ取ツテ「其變更アリタルトキハ」ト

シマセウ

議長(笑作麟祥君) 只今ノニ賛成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多数

議長(笑作麟祥君) 多数デアリマス

土方 寧君 夫レテ形付イタヤウデアリマスガマダ極ラヌノハ他人ノ場合ハ三人ニ限ルト云フコトヲ書キ加ヘタイト思ヒマス尤モ文章ノ書キヤウデアリマスガ高木君ノ案ノ一項ノ但書ハ「親族三人ニ満たサルトキハ其家又ハ本人ニ縁故アル他人ヲ以テ之ヲ補充ス」トアリマスガ之ハ獨リ支ケナラハ二人入レテ三人ニスルト云フ意味テ三人以上ト云フコトテハアルマイト思ヒマス少シ文章ノ意味ガ分ラヌガ、梅君ニ問フテモ宜シイガ九百五十條ハサウデアツテ元ト五人トアツタ親族ガ「三人ニ満たサルトキハ」トアル

磯部四郎君 此處ハ「三人以上」トアル



議長（兼作麟祥君） 土方君ニ申シマスガ夫レハ整理ノトキニサレテハトウデス

土方 寧君 親族カ三人ニ滿タサルトキハ他人ヲ以テ補充スルト云フコトテアリマスガ他人ハ幾人テモ宜シイカ元ト他人ヲ入レテ他人カ多勢ニ爲ツテ他人カ遁入ツテ五人七人ニ爲ツテモ宜シイガ他人計リノトキハ三人ト云フコトノ積リテアツタラト解釋セラレルガ乍併「三人以上トス」ト云フコトテアルト勝手ニ七人ニモ十人ニモ爲ラウト思ヒマス「三人ニ滿タサルトキ」ト云フ文章ハドウ爲ルノテアリマスカ親族ト他人ト合シテ三人テゴザイマセウガ他人計リノトキハドウ爲リマスカ

磯部四郎君 會員ノ變更テアリマスガ此變更ト云フノハ親族ノ中十人ナラハ十人デ親族會ヲ組織シテ仕舞ツテ其十人ノ中一人缺ケタトキニ別段ニ入レヌテ九人丈ケテ往ケルノカトウカ親族會員ハ三

人以上テアリマスカラ例ヘハ九人ノ中一人缺ケテ八人ト爲ル八人ハ三人以上テアリマスカ一旦九人ニシタナラハ一人入レルカ又ハ入レヌテ済ムカト云フ疑ヒテアリマス

高木豐三君 夫レハ法律テ定メタ以上テアリマスカラ親族カ入レヌト言ヘハ夫レハ入レヌテ済ム併シ届出ハ勿論スル

長谷川 喬君 今ノ第三項ノ事ハ極マリマシタガ第二項ノ決シタ事ニ付テハ私ハ儘ノテ置キタイ高木君ノ案ハ「最近親族中ヨリ之ヲ選定ス」トアリマシタ原案ハ其最近親族ノ外ニ尙ホ利害ノ異ナル親族トカ何ントカ云フ一ツノ條件カアリマシタ所ガ紫字ノ九百四十九條ノ方チ決テ採リニ爲ツタトキハ立ツタ人カ少ケナカツタ夫レカ爲ノニ當ニ九百四十九條ノ方カ通ラヌノミナラス高木君ノモ通ラヌテハ構ハヌト云フコトニ爲ルノテアリマス

議長（兼作麟祥君） 兩方共潰シテ仕舞ウ



長谷川 喬君 起草委員モサウ云フコトニシテ宜シイ譯テアリマス  
 カ私共カ立タナカツタ譯ハ九百四十九條ト云フモノハ此處テ修正  
 ニ爲ツテ居リマスガ私ハ紫字ノ九百四十九條ヲ原案ト思ヒマスカ  
 ラ之ニ同意テアルカラ立タヌテ宜シイト思ツタガ併シ夫レハ私ノ  
 考ヘ違ヒニシタ所ガ若シ此九百四十九條ガ修正案タカラ出ナイト  
 成立タヌト云フト蓋トノ黒字ノ九百五十條ノ二項ハ生キテ居ルト  
 思ヒマス紫字ガ修正案トスレハ修正案ニ對スル原案テナケレハナ  
 ラヌト思ヒマス

議長(箕作麟祥君) 私ハ斯ウ解シテ居ル黒字ノ方ハ起草者ハ無論  
 ソツくり無クシテ居ラレルト思ヒマス其處テ今日此紫字ノ方カ原  
 案ト爲ツテ居ルト思ヒマス、所カ高木君ノ案ノ爲ノニ其一項モ二項  
 モ親族會員ハ五人ト云フノヲ三人以上トスルト云フコトニ爲ツタ  
 カラ丸テ無ク爲ツテ一ツノ修正説トシテ見ナケレハナラヌト云フ

考テアリマシタ夫レカ間違ヘタト云フコトテ私ノヤリ方ガ悪ルカ  
 ツタカあなた方ノ御考カ違ツテ居ツタカトツチカ知りマセヌガ私  
 ハサウ云フ意見テ採リマシタガ夫レカ誤解ト云フコトナラハ再ヒ  
 決テ採ツテモ構ヒマセヌ

長谷川 喬君 私ノ考ハサウ云フノテアツタカラ立タナカツタノテ  
 アリマス若シ御許シニ爲ルナラハ決テ採ツテ戴キタイ  
 議長(箕作麟祥君) サウ云フ御方カアレハ決テ採リマス

尾崎三良君 私モ矢張り此「最近親族」云々ト云フ事ハ入レテ置キ  
 タイ矣ト思ヒマス、ケレトモ議長ノ先刻ノ御宣告ノ中ニ「最近親  
 族」ノ外ニ「各種ノ者」ト云フコトカ導入ルト云フノテ夫レカ嫌  
 ヤテ立タナカツタノテアリマス夫故ニ吾ガ望ム所ノ「最近親族」  
 ト云フコトヲ除クノカ甚ダ残念テアリマスカラ願クハ「最近親族」  
 ト「各種ノ者」ト云フノヲ別ニシテ採決ヲ願ヒタイト思ヒマス



議長（笑作麟祥君） 夫レハ高木君ノト同シテアリマス夫レハ一旦決チ採リマシタカラ復タ夫レチ採ル事ニ爲リマス夫レテハ誤解サレタト云フ方モアリマスカラ誤解テ濟ンテハ甚タ宜シクアリマセヌカラ已ムチ得スモウ一週決チ採リマス私ハ何處マテモ修正案ト見テ居リマシタガノミナラス只今ノ「利害ヲ異ニスル者」トカ「最近親族」トカ云フヤウナ説モアリマスガ夫レニ拘ハラヌ、、、尾崎三良君 夫レテハ「最近親族」ト云フコトチ入レルト云フコト丈ケ御極ノニ爲ツテハトウテスカ

議長（笑作麟祥君） 夫レハ困リマス高木君ノ説テ既ニ削除ニ爲ツタト思ヒマス

元田 肇君 今日ハ誤解トカ何ントカ云フヤウナコトハ言ハスニ斷然斯ウ云フコトチ極ノテ置キ是チ往カヌト云フ御方ハ更ニ再議ノ案チ御出シニ爲ツタ方カ宜カラウト思ヒマス

議長（笑作麟祥君） 今ノ事ナラハ決チ採ルコトハ六カシイコトハナイ夫レテハ斯ウ云フ事ニ爲ルノテアリマスカ尙ホ諸君ニ申シマスカ只今ノ「親族會員ハ本人ノ最近親族中ヨリ又親族中利害ヲ異ニスル者アルトキハ其各種ノ者ヨリ之チ選定スルコトチ要ス但正當ノ理由アルトキハ此限ニ在ラス

中村元嘉君 金ク「五人」カ消ヘル丈ケテアリマスカ

議長（笑作麟祥君） 實際ハサウテスガ夫レチ言フト修正案トカ何ントカ云フ説カ出マス夫レテ今度決チ採ラウト欲スルノハ繁字ノ九百四十九條ト同シヤウナモノテアリマス「五人トシ」チ削ル位ノコトテアリマス只今申シマシタヤウナ案ニ付テ決チ採リマス

尾崎三良君 一寸此「各種ノ者」ト云フコトニ付テ一應質問シテ置キタウゴザイマスガ此「利害ヲ異ニスル」ト云フコトニ付テトウモ判然セヌヤウテアリマス今梅サンカラノ御説明ニハ父方ト母方



ノ者カ即チ利害ヲ異ニスルト云フコトノヤウテアリマシタガ夫レハ高木君杯ノ御説ト同シニ其子ノ爲メチ思ヘハ別ニ利害ヲ異ニスルコトモナカラウト思ヒマスガ然ニ種積サンノ御説明ニスルト夫レハ利害ヲ異ニスル場合ハ相續人ヲ選定スル時ニ當ツテ此子ヲ相續人ニシヤウ又今一人ノ子供ヲ相續人ニ選定シヤウト云フヤウナトキニ利害ヲ異ニスルト云フコトテアリマシタガ成程サウ云フ場合カアツタナラハ明カニ利害ヲ異ニシマスガ併シ通常ノ場合ニハ父方ト母方カ何時モ利害ヲ異ニスルト云フヤウナコトニ此法律ヲ解釋シテ父方カ二人母方カ二人ト云フヤウナコトニ解釋ニ爲ルノテアリマスカ其處ノ解釋ヲ伺ツテ置カヌト贊成不贊成ノ決心ニ躊躇致シマスカラトウソ其處ヲ御説明チ願ヒマス

梅 隆次郎君 起草致シマシタ者ハサウ云フ風ニ解シマスルノテアリマス

磯部四郎君 私ハ先程一寸輕忽ニ立チマシタガ今日此五人ト云フ定員カ無ク爲ツタ以上ハ「最近親族」ト云フコトハ要ラヌト思ヒマス成程多クノ人カ居レハ從ツテ多クノ會員カ出マセウカラ定員ガアツテ始メテ近い者ト遠イ者トアツテ遠イ者ヲ選ンテ近い者ヲ選ハヌト云フヤウナコトカアルト往ケマセヌカラ夫レテ「最近親族」ト云フコトモ必要テアリマスガ何人テモ宜シイト云フコトニ爲リマシタカラ必スシモ最近親族所ロテナイ總テノ親族カ皆選ハレルヤウナコトモアラウト思ヒマスカラシテ此「最近親族」ト云フコトハ不必要テアラウト思ヒマス

鳩山和夫君 高木君ノ第三項ハ既ニ確定シタヤウテアリマスガ是亦書直オサナケレハ爲ラヌ譯ニ爲ラウト思ヒマスガ今ノ案ガ若シ多數ヲ以テ可決スレハ

議長（笑作調律師君） トウ云フ御趣意テアリマスカ



鳩山和夫君 高木君ノ第二項ガ消滅シタ爲ノニ「前二項ノ規定ニ依  
ツテ」ト云フコトヲ削ツテ「親族會員ヲ選定シタルトキハ」ト云  
フ風ニ直ツテ居リマスガ之ハ復タ要ルヤウニ爲ルテゴザイマセウ  
議長（笑作麟祥君） 夫レハ誤解ト云フコトテアリマシタカラモウ  
一 通決ヲ採リマシテ多數ニ爲レハ自然ノ結果トシテ要ルヤウテア  
リマス

鳩山和夫君 此處ノ會ハ誤解タカラト云ツテ幾週モ決ヲ採ツテ貰ツ  
テモ宜シイノテスカ

議長（笑作麟祥君） 夫レテキハサウ云フ御説カ出マスレハ誤解ナ  
ラハモウ一通決ヲ採ルコトヲ許ストカ許サヌトカ云フコトニ付テ  
決ヲ採リマス

鳩山和夫君 夫レテハ私ハ決ヲ採ルコトハ異議ヲ唱ヘテ置キマス  
議長（笑作麟祥君） 夫レテハ先決問題ヲ採リマス誤解タカラ今一

通決ヲ採ルコトヲ許スヘシト云フコトニ賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマ  
ス

起立者 少数

議長（笑作麟祥君） 少数テアリマス

村田 保君 サウスルト二項ハ削レルコトニ爲リマスカ

議長（笑作麟祥君） サウテス一寸高木君ニ伺ヒマス九百五十條ノ

あなたノ修正案ガアリマシタガ之ハトウ爲ルノテアリマスカ

高木君三君 今度出テ居ルノテハ實際悪ルイト思ヒマス

議長（笑作麟祥君） サウスルト起草委員ニ伺ヒマスガ今日御提出

ニ爲ツタ修正案ノ九百四十九條ト九百五十條トハ高木君ノ修正案  
ノ爲ノニ削レテ仕舞ツタサウスルト黒字ノ九百五十一條ト云フモ  
ノガ今度ノ修正案ニハ無イカラ舊トノ儘テ生キテ居ル積リテ今度  
ハ此黒字ノ案ノ九百五十一條ニ掛ツテ宜シイノテスカ







監督ヲ受クヘキ位置ニ居リナカラ監督スル人ニ爲ルト云フコトハ  
 條理ニ合ハヌコトテアルカラ夫レテ之ハ「親族會員タルコトヲ得  
 ス」ト云フコトニスルノカ宜シト思ヒマス是ニ付テ外國ノ例ハ殆  
 ント半々ニ爲ツテ居リマスカラ幾ラカ迷ヒマシタガ詰リ「會員タ  
 ルコトヲ得ス」ト云フコトノ方ガ宜カラウ之ニ反對シテ却テ當然  
 會員タリト云フヤウナ規定カアリマスカラ之ハナイト不都合ト思  
 ヒマス第三項ノ規定ノ人事編第百八十條乃至第百八十二條ト大同  
 小異テアリマス乍去其中テ第百八十條ノ規定以下ハ之ハ後見人ニ  
 付テ既ニ修正ヲ加ヘマシタ、デ後見人ニ付テ修正ヲ加ヘマシタ以  
 上ハ矢張り親族會員ニ付テモ其修正ニ從フヘキモノテアラウト考  
 ヘマシタカラ夫レテ其點カ詰リ違フテ參ルノテアリマス夫故ニ既  
 成民法ト此箇條トヲ較ヘテ説明チセンヨリハ寧ロ此處ニ引テアル  
 所ノ九百十二條及ヒ九百十三條ニ付テ説明チシタ方カ却テ諸君ノ

御便利テアラウト考ヘマスカラシテ夫レテ其ヤウニ致ス積リテア  
 リマス即チ九百十二條ニ於テハ後見人タルコトヲ辭スルコトヲ得  
 ル場合ガ規定ニ爲ツテ居リマス之ニ付テハ舊民法ニハ詰リ何ント  
 モ規定ガナク親族會員ト云フモノハ辭スルコトハ出來ヌト云フコ  
 トニ爲ツテ居リマス之ハ外國ニモ例ノ多イコトテアツテ理由ノア  
 ルコトト思ヒマス親族會員ト爲ルト云フコトハ後見人ト爲ルト云  
 フ事柄ニ較ヘテ見ルト誠ニ輕イ責任テアツテ辭セヌテモ隨分濟ム  
 コトカ多イト云フ譯テゴザイマセウ乍去吾々ノ考ヘタ所テハ此九  
 百十二條ニ列舉シタ場合カ殘ラスサウテアルト云フコトハ云ヘナ  
 イト思ヒマス成程軍人軍屬テアルト云フテモ後見人ハ動カヌニシ  
 テモ親族會員ニ爲ルコトカ出來ヌト云フコトハナカラウト思ヒマ  
 ス或ハ被後見人ノ住所ノ市又ハ郡以外ニ於テ公務ニ從事シテ居ツ  
 タ所テ夫レハ原則トシテ會議ノ度ヒ毎ニ出テ來ルコトカ出來ヌト



云フコトハナカラウト思ヒマス唯タ遠隔ノ地ニ居ル者カ本條第一  
 項ノ規定ニ依ツテ辭スルコトヲ得ルカラ夫レテ十分ト思ヒマス又  
 第四號ニ於テハ「禁治産者ニ付テハ十年以上後見ヲ爲シタルコト  
 」之ヲ準用シテ見レハ「親族會員タルコト」テアリマス成程之モ  
 後見人ハ非常ニ責任モアルコトテ成程夫レチ十年以上勤ノルト云  
 フコトハ苦シイ相違アリマセヌガ親族會員ノ方ハ十年位ハ左マテ  
 斷トイコトテハナイト思ヒマス夫レテ之モ親族會員タルコトヲ辭  
 スルコトノ出來ル原因ノ中ニハ入レヌノテアリマス唯タ殘ル所ノ  
 第三號ト第五號之ヲ親族會員ニ準用スルコト第二號ハ「自己ヨリ  
 先キニ後見人タルヘキ者」云々尤モ之ハ先刻ノ決議ニ依ツテ削除  
 ニ爲ツテモ宜シイカト思ヒマス即チ此自己ヨリ先キニ親族會員タ  
 ルヘキ者ノアツタ場合ノコトハ御制リニ爲ラネハ往ケマイト思ヒ  
 マスガ私共カラハ出シマセヌ第五號ノ「親族會ニ於テ正當ト認メ

タル事由」之如何ナル事由テアツテモ必要テアラウト思ヒマス其  
 正當ノ事由ト云フ中ニハ或ハ病氣ト云フコトモ又ハ公務カ非常ニ  
 多忙ト云フコトモ遁入ルノテ必要テアラウト思ツテ入レマシタ而  
 シテ御注意マテニ申シマスガ九百十二條テモ婦女ヲ入レルト云フ  
 コトテ婦女ハ何時テモ辭スルコトカ出來ルト云フノテアリマスカ  
 ラ婦女ハ親族會員ヲ勝手ニスルコトヲ得ルト云フコトニ爲リマス  
 九百十三條ノ場合ハ何レモ後見人タルコトヲ得ナイ場合テアリマ  
 スガ是ハ場合カ多クアリマスカラ一々説明ノ勞ヲ執リマセヌガ諸  
 君ニ於テモ御覽ニ爲ルト何レモ親族會員ニ適セナイ場合ト思ヒマ  
 スカラ而シテ外國ニ於テモ後見人タルコトヲ得ナイ事由ハ親族會  
 員タルコトヲ得ナイ事由トハ大抵同シヤウニシテアリマスガ之ハ  
 尤モノコトテ吾々モ其主義ヲ採ツテ本案ニモ九百十三條ヲ準用ス  
 ルコトニ致シマシタ



土方 寧君 先刻伺ツタトキハ奇妙ナト云フコトチ一寸言ツテ奇妙テナイ事ヲ説明サレタト云フコトテアリマスガ私ハ言ヒ損ヒ計リテナイ此規定テ眞ニ奇妙ト思フ事カアリマス夫レハ大體ノ事ハ後見ノ所テ極マリマシタカラ前後矛盾シテ居ルトトテラカニシテ置カナケレハナラヌト思ヒマス私ノ思フ所テハ全體他人力是非後見人ニ爲ラナケレハナラヌト云フコトニスルノハ誠ニ理窟カ合ハヌト思ヒマス親族會員テモサウテアリマス親族會員カ親族テ出來ヌトキハ他人ヲ以テ代ラセルコトハ已ムヲ得ナイガ他人ガ承知スレハ宜シイガ若シ承知シナイトキハ無理ニ承知サセナケレハナラヌ親族ガ正當ノ理由ガアツタラ許シテヤルサウテナケレハ親族會員ニ爲ラナケレハナラヌ後見人テモサウテアル嫌ヤテモ爲ラナケレハナラヌ後見ノコトニ付テハ後見ハ被後見ノミニ對スル一ツノ勸メテハナイ其理由ハ後見人ハ公職テアルカラ役人ト見ルコトハ

出來ヌガ殆ント役人ト同様ノ者テアル之ハ被後見人ノミニ對スル勸メテナイ國ニ對スル勸メテアルト云フコトテアリマスガサウテアツタラウト思ヒマスガ此親族會員モサウテアルカ辭スルコトハ出來ヌガ辭スル場合カ僅ニ除テアリマス夫レテ他人ガ嫌ヤト云フノニ無理ニ辭スルコトカ出來ヌト云フノハ不都合ト思ヒマス夫レテ此後見トハ釣合カ合ハヌカ此親族會ノ所テ幸ニ通ルナラハ後見ノ所モ整理ノトキニ矢張り其通りニ直ホラナケレハ往ケナイト思ヒマス私ノ考テハ後見ノ所テハ大層出席ガ少ナカツタ理窟ハ分ツテ居リマスガ夫レテ後見テモ親族會員テモ他人ヲシヤウト云フナラハ其指令サレタ人ガ嫌ヤト言フナラハ別ニ理由ハ言ハヌテモ夫レハ辭スルコトカ出來ルト云フコトニシタイ夫レ丈ケノ理由テ此九百五十一條テハ二項ヲ存シテ一項ヲ削リ三項ニ付テハ「此他第九百十三條ノ規定ハ親族會員ニ之ヲ準用ス」ト言ツテ親族會員タ



ルコトヲ得サル者ヲ極メテサウシテ親族會員タルコトヲ得ル者ニ  
 ハ他人チャツテ嫌ヤナラハ辭シテモ宜シイコトニシタイ唯タ削リ  
 放シテ若シ親族ヲ辭スルコトカ出來ルト云フコトニ爲ルト云フコ  
 トナラハ他人ハ辭シテモ宜シイカ親族ハ辭スルコトカ出來ヌト云  
 フヤウニ――兩方チ書カヌテモ親族ハ辭スルコトヲ得ヌト  
 書テ親族會員ニ選定サレタ親族ハドシドシ事由カナケレハ辭スル  
 コトハ出來ヌト云フコトニシタイサウスルト他人ハ出來ルト云フ  
 コトニ爲ル夫レテ私ハ今ノヤウニ修正シタイト思ヒマス

高木豊三君 土方君ノ一項削除ハ賛成シマセヌガ三項ヲ修正スルコ  
 トニハ賛成シマス

穂積八東君 只今土方君カラ後見人ノコトニ付テ御修正ノヤウテア  
 リマシタガあれガ實際問題ニ爲ツタノテアリマスカ

議長(笑作麟祥君) あれハ些ツトモ問題ニ爲ツテ居リマセヌ土方

君ハ此條ヲ修正スルト云フコトテ其結果ヲ前ニ及フカ及ハヌカト  
 云フコトヲ言ツテ居ラレマシタガ夫レハ親族會員ノ方カサウシテ  
 モ後見ノ方ハサウシナタテモ宜イカモ知レマセヌガ此條ヲ修正ス  
 ルト云フコトテアリマスカラ賛成者チアレハ問題トシマス

穂積八東君 私ノハ斯ウテス後見ノコトニ付テハ土方君ト兼々同意  
 見テアリマストウカ夫レカ若シ幸ニ問題ニ爲ルナラハ賛成シタイ  
 ト思ヒマス

磯部四郎君 私ノ考ヘテハ成程理論カラ考ヘルト無理矢理ニ他人  
 チ親族會員ニ選定スル夫レカ嫌ヤカルモノチ無理ニ引張り出スト  
 云フノハ無理ノコトノヤウニ見ヘマスガ實際ノ點カラ見ルト後見  
 人トカ或ハ親族會員トカチ嫌ヤカル者コソ公平ノ意見チ持ツテ居  
 リマス嫌ヤカル者テモ何ンテモスルト云フヤウナ恐レハナイサウ  
 云フヤウナ面倒ナ事ハ御免チ蒙リタイト言フヤウナ人ナラハ公平



ナ人又幼年者ノ爲ノチ圖ル者テアラウト思ヒマスカラサウ云フ人  
 コソ可成任ニ就テ實ヒタイト云フ考テアリマス是カ唯々謙ヤト首  
 ヘハ辭スルコトカ出來ルト云フコトナラハ親族ノ少ナイ人ハ殆ン  
 ト親族會ヲ組織スル者カ無ク爲ツテ仕舞ツテ偶々望ム者カアレハ  
 夫レハ幼者ノ財産テモ取ラウト云フヤウナ考ヲ持ツ者テアラウト  
 思ヒマス此處ラカ原案ニ旨味ノアル所テアラウト思ヒマス  
 土方 寧君 贊成カアウマセヌカラ質問シテ置キマス梅君ヲモ磯部  
 君ヲモ一寸御答ヲ願ヒマス親族會員ニ他人カ選定セラレル辭スル  
 コトハ出來ヌ特別ノ事由カ無イトキ夫レハトウシテモ招集ニモ應  
 セヌトキハ何カ制裁カアリマスカ一向謙ヤト言ツテ應セナイトキ  
 磯部四郎君 謙ヤト言ツテ出テ往カヌヤウナ人ナラハ横着チスル人  
 テアリマス  
 梅 謙次郎君 九百五十四條ノ説ノ方カ早イ

高木豐三君 私ハ土方君ノ説ヲ贊成シタノテアリマスガ少シ誤解シ  
 テ居ルヤウテアリマスカラ取消シテ第三項チ「此他第九百十二條  
 第五號及ヒ第九百十三條ノ規定ハ親族會員ニ之ヲ準用ス」ト云フ  
 コトニシタイト思ヒマス  
 議長（實作麟祥君） 夫レテハ土方君ノハ贊成カアリマセヌ只今ノ  
 高木君ノ「第三號」ヲ削ルト云フノハ前ノ修正ノ結果トシテ削ル  
 ト云フコトニハ別ニ御異議ハアリマスマイ  
 （此時「異議ナシ」ト呼フ者アリ）  
 議長（實作麟祥君） 夫レナラハ夫レニ別ニ御異議カナケレハサウ  
 決シマスサウスルト高木君ニ御相談致シマスガ修正原案ニ「第九  
 百五十一條ノ次ニ左ノ一條チ加フ」ト云フノカアリマスカ此原案  
 通りニ決シテモあなたノハ關係ハアリマセヌカ  
 高木豐三君 今日ハ一寸見タ丈ケテ能ク梅君ニ關キマセヌカラ分リ



マセヌ

議長（箕作麟祥君） 夫レテハ今日ハ是テ止ノマセウガトウカ高木  
サンニ願ヒマスガあなたノ説ガ行ハレタカラ跡ノ始末ノ付クヤウ  
ニ願ツテ置キマス

千時午後六時五十分 散會

昭和十年十二月二十四日寫了司法省法律調査會藏書

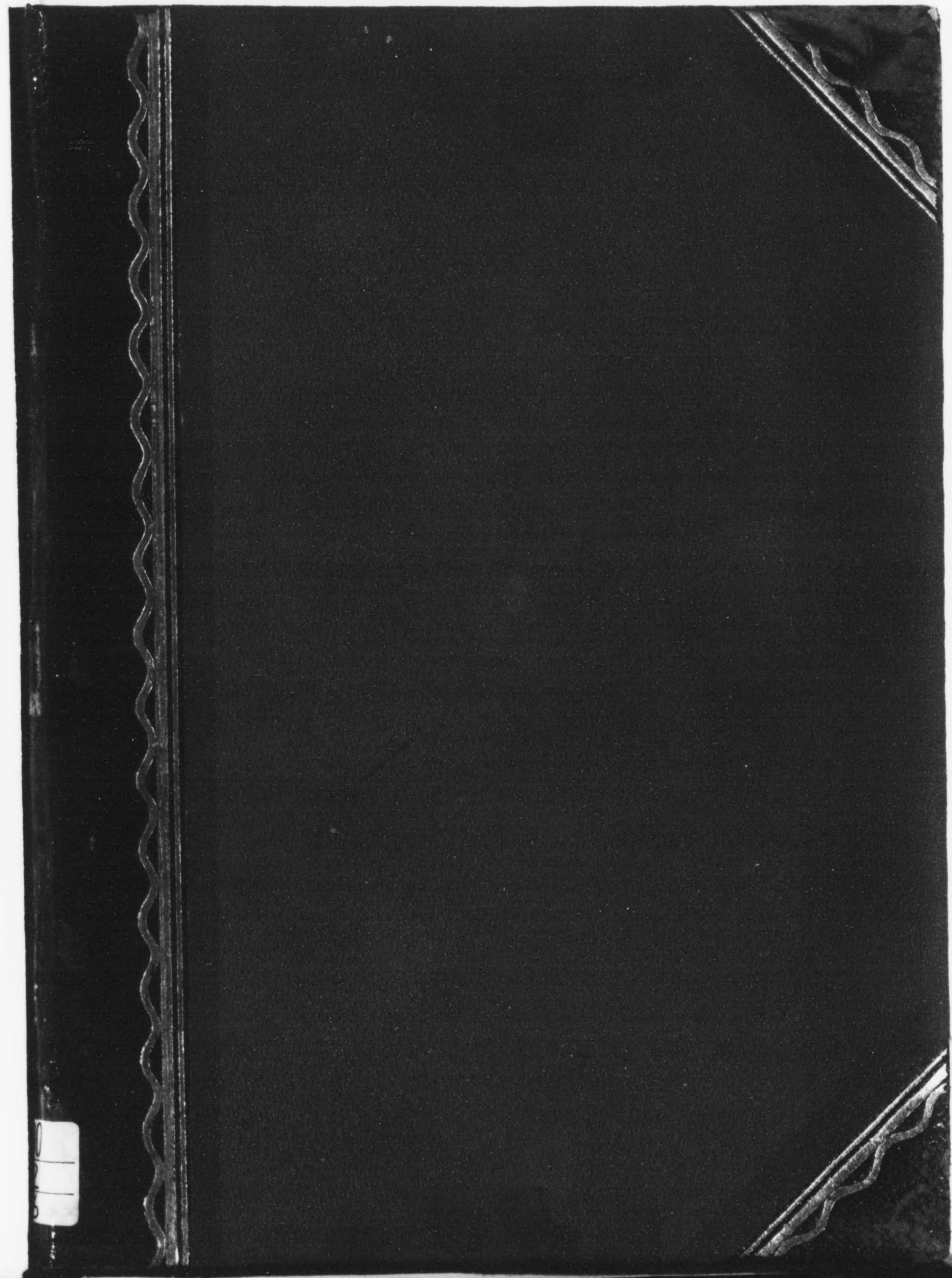
日本學術振興會



司  
法  
省







Small white label on the spine with illegible text.